

# もくじ

もくじ .....	1
はじめに .....	7

## 1 章 本製品の機能 ..... 11

1 各部の名称 .....	12
2 システムインジケータ .....	16
3 ディスプレイ .....	17
4 ハードディスクドライブ .....	22
5 音量の調節 .....	24
1 スピーカの音量を調節する .....	24
2 音楽／音声の録音レベルを調節する .....	27
6 内蔵モデム .....	28
7 タッチパッド .....	32
1 タッチパッドの基本的な使いかた .....	32
2 タッチパッドの設定をする .....	36
8 キーボード .....	44
1 キーボードについて .....	44
2 日本語を入力するには .....	52
9 CD .....	54
1 CD .....	55
2 CDのセットと取り出し .....	56
3 CDへの書き込み .....	59
10 ワンタッチボタン .....	62
11 セキュリティロック .....	67

## 2章 インターネットを楽しもう ..... 69

1	Internet Explorer の使いかた .....	70
1	インターネットボタンでワンタッチスタート! .....	70
2	Internet Explorer 画面 .....	72
3	ホームページを検索する .....	74
4	よく見るホームページを登録する (お気に入り) .....	76
5	起動したときに表示するホームページを変更する .....	82
6	ホームページを保存する .....	84
7	ホームページの画像を保存する .....	87
8	ホームページの画像を壁紙に設定する .....	89
9	以前に表示したホームページを表示する .....	93
2	簡単にホームページに接続する .....	95
3	プログラムファイルをダウンロードする .....	96

## 3章 電子メールを使おう ..... 99

1	電子メールとは? .....	100
1	電子メールとは .....	100
2	メールのしくみ .....	101
2	Outlook Express の使いかた .....	102
1	起動する .....	102
2	オプションの設定 .....	103
3	Outlook Express 画面 .....	108
4	メールを作成する .....	110
5	メールを送信する/受信する .....	114
6	メールを返信する/転送する .....	118
7	メールを削除する .....	122

8	メールを整理する .....	124
9	アドレス帳を使う .....	127
10	メールを検索する .....	134
11	メールにファイルを添付する .....	136
12	メールに添付されたファイルを開く .....	138
13	署名を入れる .....	141
14	表示する言語を切り替える .....	143
15	終了する .....	144
3	ペットにメールを運んでもらう .....	145
4	知っておきたいマナー .....	148

## 4章 アプリケーションについて ..... 151

1	複数のユーザで使うとき .....	152
2	アプリケーションのヘルプを開く .....	154
3	アプリケーションの追加と削除 .....	156
1	インストールとは? .....	156
2	アプリケーションを追加する .....	156
3	アプリケーションを削除する .....	158

## 5章 モバイルしよう ..... 161

1	モバイルする前に .....	162
2	バッテリーについて .....	164
1	バッテリーを充電する .....	167
2	バッテリー充電量を確認する .....	170
3	バッテリーパックを交換する .....	173

3	省電力の設定をする .....	174
4	パソコンの使用を中断する／簡単に電源を切る ....	180
	1 スタンバイ／休止状態.....	180
	2 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断するとき .....	185
	3 再起動する .....	187
5	外出先でインターネットに接続する .....	188

## 6章 Bluetooth 機能を使おう ..... 191

1	Bluetooth とは .....	192
2	Bluetooth 機能を使って通信を始める .....	195
	1 Bluetooth 通信が可能な状態にする .....	197
	2 デバイス名を設定する .....	198
	3 Bluetooth Service Center を起動する .....	200
	4 リモートデバイスを検出する .....	201
	5 リモートデバイスのサービスを検索する .....	202
	6 アプリケーションを終了する .....	203
	7 ヘルプの起動 .....	204
3	他のコンピュータとの通信 .....	205
	1 ネットワークサーバーサービスの開始 .....	205
	2 ネットワークへの接続 .....	207
	3 クライアントマシンでの切断 .....	209
	4 ネットワークサーバーサービスの終了 .....	209

## 7章 周辺機器を使う .....211

1	周辺機器を接続する前に.....	212
1	1 周辺機器を使う前に.....	212
2	2 取り付け/取りはずしのご注意.....	214
2	2 スリムセレクトベイ機器を差し替える.....	215
1	1 スリムセレクトベイ機器の差し替え.....	216
2	2 マルチドライブ.....	218
3	3 セカンドハードディスク.....	220
4	4 セカンドバッテリーパック.....	223
3	3 フロッピーディスクドライブを接続する.....	224
1	1 フロッピーディスクドライブ.....	224
2	2 フロッピーディスク.....	226
3	3 フロッピーディスクを使う前に.....	227
4	4 PCカードを接続する.....	232
5	5 SDメモリカードを接続する.....	235
1	1 SDメモリカード.....	235
2	2 SDメモリカードのセットと取り出し.....	236
3	3 SDメモリカードを使う前に.....	238
4	4 オーディオデータを転送する.....	239
6	6 USB対応機器を接続する.....	241
7	7 i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続する....	243
8	8 マイクロホンを接続する.....	246
9	9 ヘッドホンを接続する.....	247
10	10 CRTディスプレイを接続する.....	248
11	11 LANへ接続する.....	251
12	12 メモリを増設する.....	254

## 8章 システム構成とパスワードセキュリティ .... 259

1	東芝 HW セットアップ .....	260
2	セットアッププログラム .....	268
1	起動 .....	268
2	終了 .....	269
3	セットアッププログラムの画面 .....	270
4	設定項目 .....	272
3	パスワードセキュリティ .....	284
1	パスワードセキュリティ機能について .....	284
2	ユーザパスワード .....	286
3	スーパーバイザパスワード .....	291
4	パスワードの入力 .....	292

## 9章 日常の取り扱いとお手入れ ..... 295

1	日常の取り扱いとお手入れ .....	296
---	--------------------	-----

## 付録 ..... 303

1	本製品の仕様 .....	304
2	各インタフェースの仕様 .....	307
3	技術基準適合について .....	311
	さくいん .....	330

# はじめに

本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心して  
お使いいただくために』に記載されています。よくお読みください。

本書は、次のきまりに従って書かれています。

## 記号の意味

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡する、あるいは重傷を負う 可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害* <sup>1</sup> を負ったり、物的損害* <sup>2</sup> の発生が想定される内容を示します。
 <b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下をおこさないために守ってほ しい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示し ます。
 <b>メモ</b>	知っておくと便利な内容を示します。
 <b>用語</b>	覚えておくと役に立つ用語を示します。
 <b>参照</b>	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「 」 他のマニュアルへの参照の場合…『 』 オンラインマニュアルへの参照の場合…〈 〉

\*1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などを  
さします。

\*2 物的損害とは、家屋・家財にかかわる拡大損害を示します。

## 用語について

---

本書では、次のように定義します。

システム .....	特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。 本製品のシステムは、Windows XP です。
アプリケーションまたはアプリケーションソフト .....	アプリケーションソフトウェアを示します。
Windows XP .....	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。
MS-IME .....	Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。
Bluetooth 内蔵モデル .....	Bluetooth 機能内蔵のモデルを示します。
i.LINK 内蔵モデル .....	i.LINK 機能内蔵のモデルを示します。
アプリケーションモデル .....	Microsoft® Office XP Personal がプレインストールされているモデルを示します。
CD .....	CD-ROM、CD-RW または CD-R を示します。
標準ハードディスク .....	本製品に標準で内蔵されているハードディスクを示します。
セカンドハードディスク .....	別売りのハードディスクドライブキットを示します。
セカンドハードディスクアダプタ .....	別売りのスリムセレクトベイハードディスクアダプタを示します。

## 記載について

---

- ・インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- ・本書に記載している画面は、実際に表示される画面と異なる場合があります。
- ・本書では、[コントロールパネル] 画面をカテゴリ表示している前提で操作の説明をしています。操作説明文の項目名が [コントロールパネル] 画面に表示されていない場合は、左画面の [カテゴリ表示に切り替える] をクリックしてください。
- ・本書では、次のスリムセレクトベイ機器（別売り）についても説明しています。
  - ・マルチドライブ
  - ・ハードディスクドライブキット（本書ではセカンドハードディスクとよびます）
  - ・スリムセレクトベイハードディスクアダプタ（本書ではセカンドハードディスクアダプタとよびます）
  - ・セカンドバッテリーパック

## Trademarks

---

- ・Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Intel、Pentium、インテル、インテル SpeedStep は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・Fast Ethernet、Ethernet は富士ゼロックス株式会社の商標または登録商標です。
- ・i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
- ・Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- ・PostPet はソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
- ・Roxio、Roxio ロゴ、Easy CD Creator 5、DirectCD 5 は、Roxio, Inc. の商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## リリース情報について

---

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、次の操作を行うとご覧になれます。

- ① [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックする
- ② [ヘルプトピックを選びます] の [リリース情報] をクリックする
- ③ 左画面の [リリース情報] をクリックする

## お願い

---

- ・ 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ 内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品でのみご利用いただけます。
- ・ ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

## 著作権について

---

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

# 1 章 本製品の機能

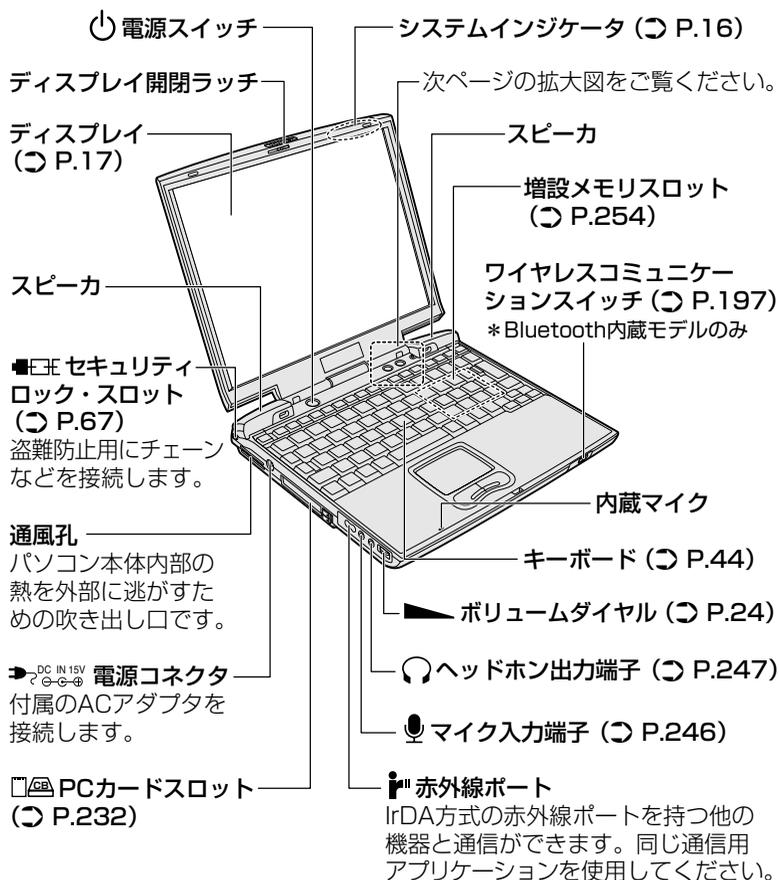
1	各部の名称 .....	12
2	システムインジケータ .....	16
3	ディスプレイ .....	17
4	ハードディスクドライブ .....	22
5	音量の調節 .....	24
6	内蔵モデム .....	28
7	タッチパッド .....	32
8	キーボード .....	44
9	CD .....	54
10	ワンタッチボタン .....	62
11	セキュリティロック .....	67

# 1

## 各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。  
それぞれについての詳しい説明は、それぞれに関連する節で行います。

### ■ 前面図

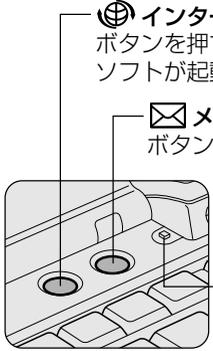


【点線部の拡大図】

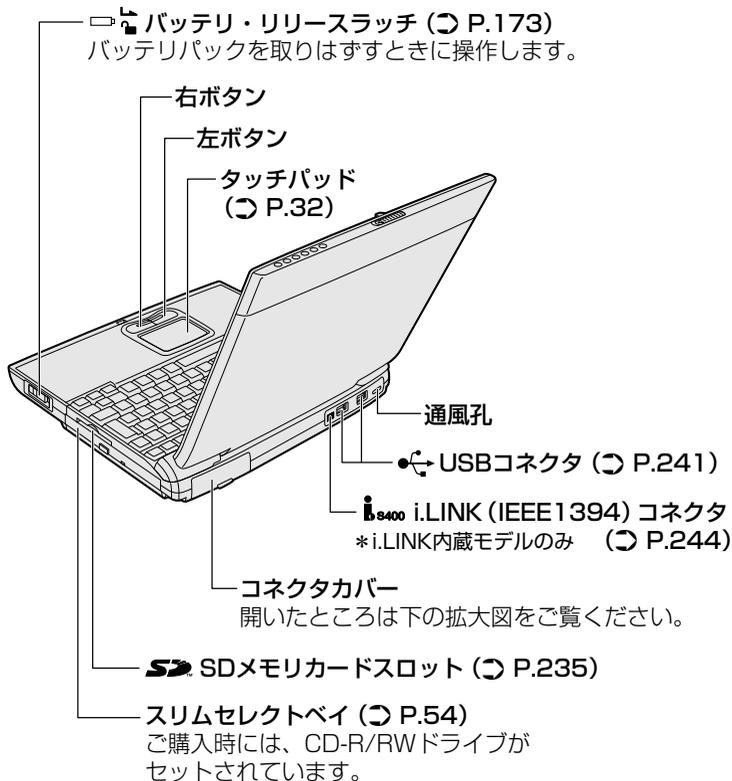
🌐 **インターネットボタン (☞ P.62)**  
ボタンを押すと、インターネットブラウザソフトが起動します。

✉ **メールボタン (☞ P.62)**  
ボタンを押すと、メールソフトが起動します。

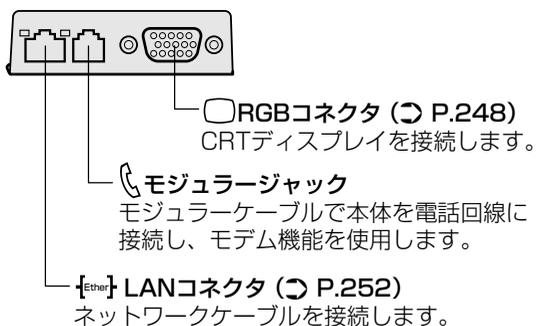
**リッドスイッチ**  
ディスプレイの開閉をパソコンが感知するためのスイッチです。通常は押さないでください。



## ■ 背面図

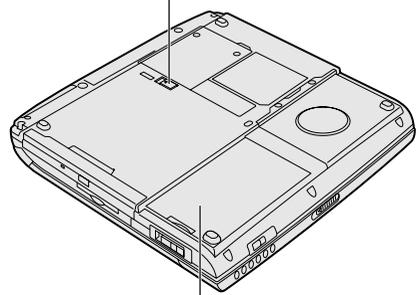


### 【コネクタカバーを開いたところ】



■ 裏面図

スリムセレクトベイラッチ (⇒ P.216)  
スリムセレクトベイ機器を差し替えるときに  
使用します。

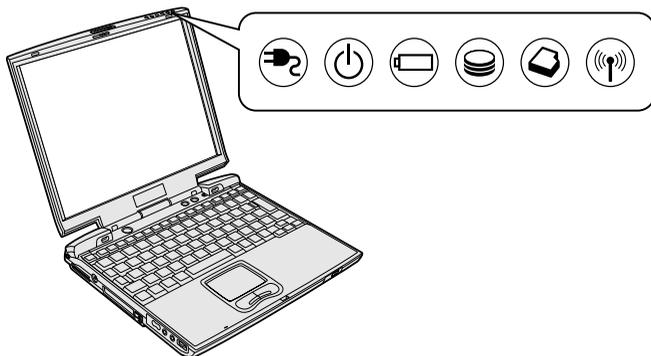


バッテリーパック (⇒ P.164)  
バッテリーパックを充電すると、バッテリー駆動  
(ACアダプタを接続しない状態) で使用できます。

# 2

## システムインジケータ

システムインジケータは、パソコン本体の動作状態を示します。インジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



	DC IN LED	電源コードの接続 ☞『まずはこれから 電源を切る／入れる』
	Power LED	電源の状態 ☞『まずはこれから 電源を切る／入れる』
	Battery LED	バッテリーの状態 ☞「5章 2 バッテリーについて」
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている ☞「本章 4 ハードディスクドライブ」
	Slim Select Bay LED	スリムセレクトベイに取り付けられている機器へのアクセス状態 ☞「本章 9 CD」 またはセカンドバッテリー（別売り）の充電状態 ☞「5章 2 バッテリーについて」
	ワイヤレスコミュニケーション LED	Bluetooth機能の状態 ☞「6章 Bluetooth機能を使おう」

# 3

## ディスプレイ

ディスプレイは、パソコンの内部で行う作業を、目に見えるように表示する装置です。ディスプレイを見ながらパソコンに指示を出すことができます。本製品では表示装置として TFT 方式カラー液晶ディスプレイ（1024 × 768 ドット）が内蔵されています。液晶ディスプレイは、画面をごく小さな点に分けて、点ごとに電圧を変化させて画像を表示します。ドットは点の数を表します。表示装置には、液晶ディスプレイの他に、テレビと同じようにブラウン管を発光させて表示する CRT ディスプレイもあります。

 参照  CRT ディスプレイの接続  「7章 10 CRT ディスプレイを接続する」

### ■ 表示について

TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け・常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすることは困難ですので、ご了承ください。

### ■ 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

1600 × 1200 ドット	65,536 色
1280 × 1024 ドット	65,536 色
1024 × 768 ドット	1,677 万色
800 × 600 ドット	1,677 万色
640 × 480 ドット	1,677 万色

1600 × 1200、1280 × 1024 ドットの解像度は仮想スクリーン表示になります。

 ● 1,677 万色はディザリング表示です。

 ● **ディザリング** ● 1 ピクセル（画像表示の単位）では表現できない色（輝度）の階調を、数ピクセルの組み合わせによって表現する方法。

## 画面の輝度を変更する

---

### ■ 画面の輝度を暗くする

1 (Fn) + (F6) キーを押す

### ■ 画面の輝度を明るくする

1 (Fn) + (F7) キーを押す

液晶ディスプレイの点灯直後は、約 18 秒間、輝度の変更はできません。その間、液晶ディスプレイの点灯を安定させるため、自動的に最高輝度となります。

## 解像度を変える

---

- 1 [コントロールパネル] を開き、[  デスクトップの表示とテーマ ] をクリックする
- 2 [画面解像度を変更する] をクリックする  
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 [設定] タブの [画面の解像度] で、解像度を変更する



## 4 [OK] ボタンをクリックする



- それぞれのパソコンには、ディスプレイの大きさに応じて、適した表示サイズがあります。かえって見づらくなる場合は、元の設定に戻してください。

## スクリーンセーバのパスワードによる保護

---

スクリーンセーバは、(Shift)キーや(Ctrl)キーを押したり、タッチパッドを操作すると解除され、元の画面が表示されます。スクリーンセーバのパスワードによる保護は、(Shift)キーや(Ctrl)キーを押したり、タッチパッドを操作するだけでは元の画面を表示しないようにする設定です。あらかじめ、Windows のログオンパスワードの設定が必要です。



Windows のログオンパスワード ⇨ 『オンラインマニュアル』

### ■ スクリーンセーバのパスワード保護

スクリーンセーバのパスワード保護は、[画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで設定します。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[  デスクトップの表示とテーマ ] をクリックする
- 2 [スクリーンセーバーを選択する] をクリックする

### 3 [スクリーンセーバー] タブで [パスワードによる保護] をチェックする

[パスワードによる保護] はスクリーンセーバを選択すると有効になります。複数のユーザアカウントが登録されている場合は、[再開時によこそ画面に戻る] をチェックしてください。



### 4 [OK] ボタンをクリックする

## ■ パスワードで保護されたスクリーンセーバの解除

パスワードで保護されたスクリーンセーバの動作中に(Shift)キーや(Ctrl)キーを押すか、タッチパッドの操作を行うと、[コンピュータのロックの解除] 画面または [開始するにはユーザ名をクリックしてください] 画面が表示されます。

### 【[コンピュータのロック解除] 画面の場合】

- ① Windows のログオンパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする  
パスワードは大文字、小文字を区別します。パスワードを設定したときと同じ入力状態にしてください。

-  ● Windows のログオンパスワードを設定せずに [パスワードによる保護] をチェックした場合も [コンピュータのロックの解除] 画面が表示されます。何も入力しないで [OK] ボタンをクリックしてください。

### 【[開始するにはユーザ名をクリックしてください] 画面の場合】

- ① ログオンしたいユーザ名をクリックする
- ② パスワード入力画面が表示された場合は、ログオンパスワードを入力し、 ボタンをクリックする  
パスワードは大文字、小文字を区別します。パスワードを設定したときと同じ入力状態にしてください。

-  ● Windows のログオンパスワードを設定せずに [再開時による画面に戻る] をチェックした場合も [開始するにはユーザ名をクリックしてください] 画面が表示されます。手順①を行ってください。

# 4

## ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブとは、データを磁気で記憶する装置です。電源を切っても、データが消えることはありません。フロッピーディスクやCDと比べて容量が大きいためたくさんのデータを記憶できます。

本製品にはハードディスクドライブが内蔵されています。取りはずしはできません。必要があれば、スリムセレクトベイにセカンドハードディスク（別売り）を取り付けたり、市販のPCカードタイプ（TYPE II）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすこともできます。



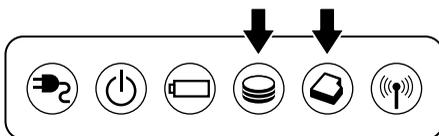
セカンドハードディスクの取り付け

☞ 「7章2 スリムセレクトベイ機器を差し替える」

### ハードディスクドライブに関する表示

標準ハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LEDが点灯します。

また、スリムセレクトベイに取り付けたセカンドハードディスク（別売り）とデータをやり取りしている場合は、Slim Select Bay  LEDが点灯します。





- Disk  LED、Slim Select Bay  LED が点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的に外部メディアなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、外部メディアなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

# 5

## 音量の調節

### 1 スピーカの音量を調節する

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。  
スピーカの音量調節について説明します。

#### ボリュームダイヤルで調節する

---

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。

#### **(Fn)** + **(Esc)** キーを使う

---

- 1 **(Fn)**キーを押したまま、**(Esc)**キーを押す  
スピーカのミュート／ミュート解除が切り替わります。

#### [サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] で調整する

---

- 1 [コントロールパネル] を開き、[  サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
- 2 [スピーカの設定を変更する] をクリックする  
[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] 画面が表示されます。

### 3 [デバイスの音量] でつまみをドラッグして調整する



使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。

- 本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
- 使用しているアプリケーションの設定を変える
- 外部マイクをスピーカから離す

## マスタ音量で調節する

再生したいファイルごとに音量を調節したい場合、次の方法で調節できます。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテインメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする



- 2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調節する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート]をチェックすると消音となります。

### ■ 音楽／音声を再生するとき

「マスタ音量」の各項目では次の音量が調節できます。

- |          |   |
|----------|---|
| マスタ音量    | : 全体の音量を調節する                                |
| WAVE     | : MP3 ファイル、Wave ファイル、<br>音楽 CD、DVD-Video など |
| MIDI     | : MIDI ファイル                                 |
| CD オーディオ | : 音楽 CD (Windows Media Player 以外の場合)        |

また、お使いのアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『マスタ音量のヘルプ』をご覧ください。

## 2 音楽／音声の録音レベルを調節する

録音レベルの調節は、次のように行います。

### パソコン上で録音するとき

---

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテインメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする
- 2 メニューバーの [オプション] → [プロパティ] をクリックする
- 3 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 4 [表示するコントロール] をチェックする  
[マイク] がチェックされていることを確認します。
- 5 [OK] ボタンをクリックする
- 6 [録音コントロール] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする  
[マイク]：外部マイクから録音するとき
- 7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する



- 同時に2つのデバイスを選択することはできません。
- 録音したい音楽／音声は「マスタ音量」の [WAVE] 対応の場合、録音するときも [WAVE] の音量により影響を受けます。

# 6

## 内蔵モデム

内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを2線式の電話回線に接続します。内蔵モデムは、ITU-T V.90 に準拠しています。通信先のプロバイダがV.90 以外の場合は、最大 33.6kbps で接続されます。



モジュラーケーブルの取り付けについて

☞『まずはこれから インターネットに接続しよう』



モデム機能の詳細について ☞『オンラインマニュアル』

### ■ 使用上のお願い

- 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。
- 市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- 回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。



- **分岐アダプタ** ● 1つの電話回線に電話とパソコンなど複数の機器を接続できるよう、モジュラージャックのコネクタを複数に分ける機器。
- **回線切換器** ● 1つの電話回線に複数の機器を接続できるよう、モジュラージャックのコネクタを複数に分け、自動的に接続を切り替える機器。



- PC カード接続のハードディスクドライブや CD-ROM ドライブなどの動作中に、通信を行なった場合、次の現象が発生することがあります。
  - ・通信回線の速度が遅くなる
  - ・通信回線が切断される
  - ・ダイヤルに失敗する

本製品の内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

(2001年11月現在)

海外でモデムを使用する場合、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」による地域設定を行います。

本製品を日本で使用する場合は、必ず日本モードでご使用ください。

他地域のモードでご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。



- 地域設定は、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」でのみ行なってください。

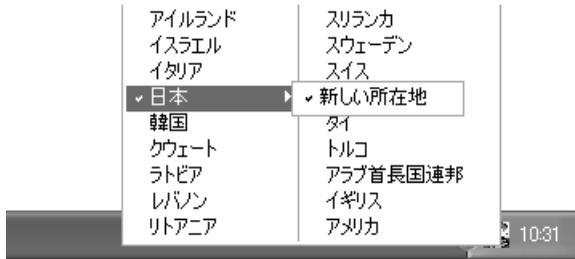
**1** [スタート] → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA Internal Modem] → [Region Select Utility] をクリックする

[Internal Modem Region Select Utility] アイコン (  ) が通知領域に表示されます。



## 2 通知領域の [Internal Modem Region Select Utility] アイコン ( ) をクリックする

内蔵モデムがサポートする地域の一覧が表示されます。  
現在設定されている地域設定と、サブメニューの所在地情報名にチェックマークがつきます。



## 3 使用する地域名または所在地情報名を選択し、クリックする

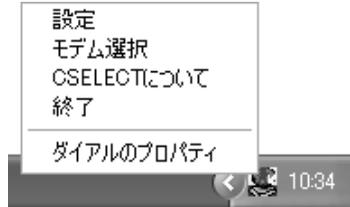
地域名を選択した場合、[新しい場所設定作成] 画面が表示されます。  
[OK] ボタンをクリック後表示される [電話とモデムのオプション] 画面で新しく所在地情報を作成します。

この場合、新しく作成した所在地情報が現在の所在地情報になります。

所在地情報名を選択した場合、その所在地情報に設定されている地域でモデムの地域設定を行います。選択された所在地情報が現在の所在地情報になります。

## その他の設定

- 1 通知領域の [Internal Modem Region Select Utility] アイコン (  ) を右クリックし、表示されたメニューから項目を選択する



### 【設定】

チェックボックスをクリックすると、次の設定を変更することができます。

自動起動モード	システム起動時に、自動的に「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」が起動し、モデムの地域設定が行われます。
地域選択後に自動的にダイヤルのプロパティを表示する	地域選択後、[電話とモデムのオプション] の [ダイヤル情報] 画面が表示されます。
場所設定による地域選択	[電話とモデムのオプション] の所在地情報名が地域名のサブメニューに表示され、所在地情報名から地域選択ができるようになります。
モデムとテレフォニーの現在の場所設定の地域コードとが違っている場合にダイアログを表示	モデムの地域設定と、[電話とモデムのオプション] の現在の場所設定の地域コードが違っている場合に、注意の画面を表示します。

### 【モデム選択】

COM ポート番号を選択する画面が表示されます。内蔵モデムを使用する場合、通常は自動的に設定されますので、変更の必要はありません。

### 【ダイヤルのプロパティ】

[電話とモデムのオプション] の [ダイヤル情報] 画面を表示します。

# 7

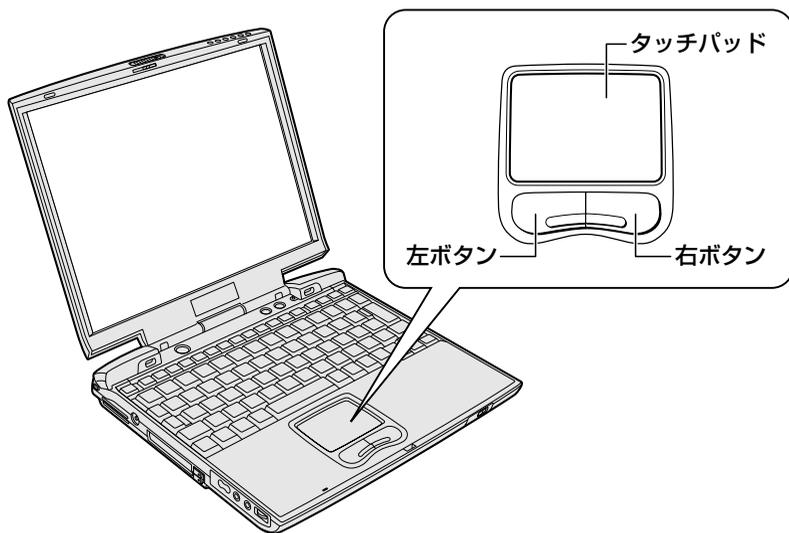
## タッチパッド

### 1 タッチパッドの基本的な使いかた

電源を入れてWindowsを起動すると画面上に  が表示されます。これを「ポインタ」といいます。

「ポインタ」を動かす装置として、本製品にはタッチパッドと左ボタン／右ボタンが用意されています。

タッチパッドと左ボタン／右ボタンでポインタを動かし、パソコンを操作してみましょう。

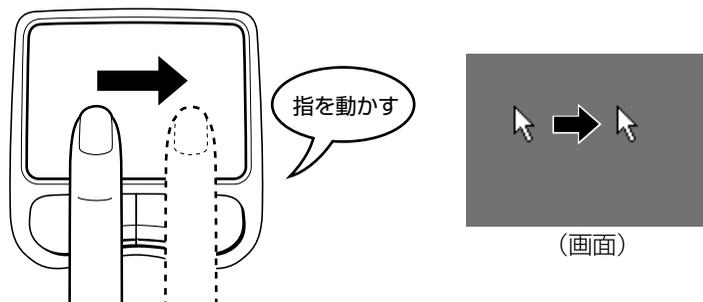


お願い

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなど先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが壊れるおそれがあります。

## ポインタを動かす

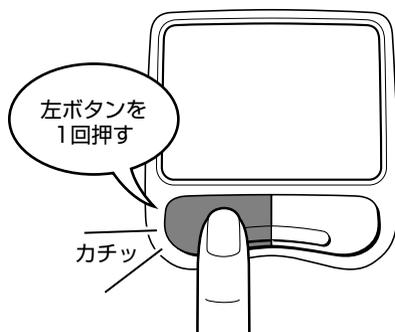
タッチパッドに指を置き、押さえながら指を前後左右に動かすと、ポインタが指の方向にあわせて動きます。



- メモ** ● 指がタッチパッドの端までできてしまい、それ以上動かせなくなったときは、いったん指をタッチパッドから離して、指をタッチパッドの中央に置き直して操作します。

## クリックする

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを1回押すことです。



アイコン、文字などを選択するときに使います。アイコンなどを選択すると、色が変わります。これを「反転表示」といいます。

<クリックする前>



マイピクチャ



<クリックした後>



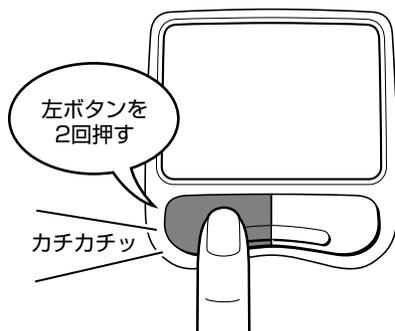
マイピクチャ

## ダブルクリックする

---

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンをすばやく2回押すことです。

ファイルを開いたり、アプリケーションを起動できます。

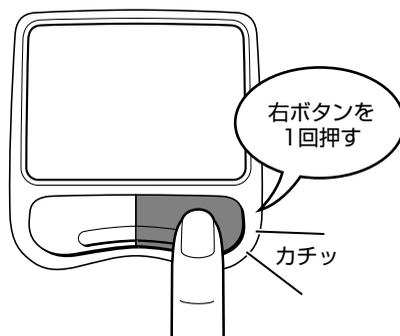


## 右クリックする

---

ポインタを目的の位置にあわせて、右ボタンを1回押すことです。

メニューが表示されるので、行いたいことを選択します。



<右クリックする前>

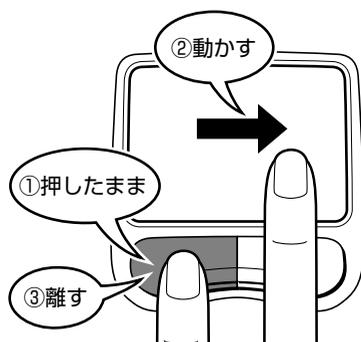


<右クリックした後>



## ドラッグアンドドロップする

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを押したまま①、別の指でタッチパッドを操作してポインタを動かします②（ドラッグ）。ポインタが目的の位置に移動したら、左ボタンから指を離します③（ドロップ）。



## 2 タッチパッドの設定をする

タッチパッドや右ボタン／左ボタンはお好みに応じて、使いやすく設定できます。本節では、お使いになると便利な機能を紹介します。

### ■ [マウスのプロパティ] の設定方法

設定は [マウスのプロパティ] で行います。

#### 1 通知領域の [タッチパッド] ( ) アイコンをダブルクリックする

画面が表示されます。



- #### 2 各タブで機能を設定し、[OK] ボタンをクリックする
- 各機能の設定については、本節の以降の説明をご覧ください。  
[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

-  ● [マウスのプロパティ] は、[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[マウス] をクリックしても表示できます。

## ■ ヘルプの起動方法

- 1 [マウスのプロパティ] 画面を表示し、画面右上の **?** をクリックする  
マウスポインタが **?** に変わります。
- 2 画面上の知りたい場所をクリックする  
説明文がポップアップで表示されます。

## タッピング機能

[タッピング] タブで設定します。  
タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。  
タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

クリック	タッチパッドを1回軽くたたきます。
ダブルクリック	タッチパッドを2回軽くたたきます。
ドラッグアンドドロップ	タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し、指を離します。

タッピング機能の各項目について説明します。



## 【タッピング】

チェックする (  ) と、タッピング機能が使用できます。  
ご購入時はチェックされています。  
続けてタッピングするときの速度は、スライダバーを動かして調節します。

## 【ドラッグロックの設定】

タッピングでドラッグした場合、指を離してもドラッグ状態を保ちたい場合は、[ドラッグロック] をチェックします。  
ドラッグ状態を解除する方法を次の中から選択します。

[自動解除] : ある一定時間経ったらドラッグ状態を解除します。  
時間はスライダバーを動かして調節できます。

[タッピング又はクリックで解除] : タッピング (1 回たたく) またはクリックの動作でドラッグ状態を解除します。

## 【タイピング】

[キー入力時タップしない]  
タッピング機能を設定していても、キーボードから文字を入力している間はタッピング機能が効かないようにします。この項目をチェックすると、入力中に意図しない場所をクリックしてしまうのを防ぐことができます。

## タッピング機能を便利に使う

[ジェスチャー] タブで設定します。

タッチパッドの右上、左上をタッピングしたときの動作や、スクロール機能を設定しておくことができます。



### 【左コーナーの設定／右コーナーの設定】

タッチパッドの左上、右上をタッピングしたときの動作を設定できます。

なし	設定しません。
ショートカットメニュー	右クリックや  キーを押したときと同じ動作をします。
オートスクロール	ポインタが  アイコンになります。このアイコンを中心にしてスクロールしたい方向にポインタを移動すると  (表示例：下の場合) が表示され、自動的にその方向の端までスクロールします。
イーजीランチャー	イーजीランチャー画面を表示します。 ☞ 「本節 その他の機能を使う」
イージーキャプチャー	イージーキャプチャー画面を表示します。 ☞ 「本節 その他の機能を使う」

### 【ブラウザ補助機能を使う】

チェックする（）と、タッチパッドの上端に指を合わせて左右に動かしたときに、ブラウザの「進む」「戻る」の動作を行うことができます。

### 【スクロール機能を使う】

チェックする（）と、タッチパッドの右端、下端に指を合わせて上下または左右に動かしたときに、スクロール機能を使用できます。

## その他の機能を使う

---

[その他] タブで設定します。



## 【サウンドフィードバック】

タッチパッドの操作に合わせてサウンドを鳴らす場合は、[使用する] をチェックします。

[設定] ボタンをクリックすると、[サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ] 画面が表示されます。

[サウンド] タブの [プログラムイベント] で「Alps Pointing Device Driver」の各場面のサウンド設定を行なってください。



## 【トレイアイコン】

通知領域に [タッチパッド] アイコン (  ) を表示する場合は、[タスクバーにアイコンを表示する] をチェックします。

## 【IMEキャプチャー】

タッチパッドをIMEパッドの手書き入力エリアとして使用する場合は、[使用する] をチェックします。

使用中は、ポインタが羽に変わります。使用中に右クリックすると入力エリアがクリアされ、左クリックすると使用が解除されます。

## 【イーजीキャプチャーの設定】

イーजीキャプチャー機能とは、ペイントを起動せずに簡単な絵を描いて、起動中のアプリケーションに貼り付ける機能です。

イーजीキャプチャー機能を使用する場合は、あらかじめ [ジェスチャー] タブの [左コーナーの設定] または [右コーナーの設定] で「イーजीキャプチャー」を指定しておきます。



- [キャンパスサイズ] : イーजीキャプチャーで使用するキャンパスのサイズを指定します。
- [線の種類] : イーजीキャプチャーで使用する線の太さと色を指定します。
- [アプリケーションのペーストキー] : イーजीキャプチャーで描いた絵を貼り付ける場合のショートカットキーを指定します。
- [オプション] : 次回イーजीキャプチャーを起動したときに前回のイメージを保持する場合はチェックします。

## 【イージーランチャーの設定】

イージーランチャー機能とは、ランチャー画面のボタンをクリックするだけで、「最小化」「閉じる」などの操作を実行したり、登録したアプリケーションやファイルを起動できる機能です。

イージーランチャー機能を使用する場合は、通知領域の [タッチパッド] アイコン (  ) を右クリックし、表示されるメニューから [イージーランチャー] をクリックします。または、あらかじめ [ジェスチャー] タブの [左コーナーの設定] または [右コーナーの設定] で「イージーランチャー」を指定しておきます。



[ショートカットの登録] : [追加] ボタンをクリックし、登録したいアプリケーションやファイルを指定します。

[レイアウト] : ランチャー画面の表示位置とアプリケーションアイコンの大きさを指定します。

[その他の機能] : ランチャー画面に「タイトルバー」「ツールヒント」「閉じるボタン」を表示するかを指定します。

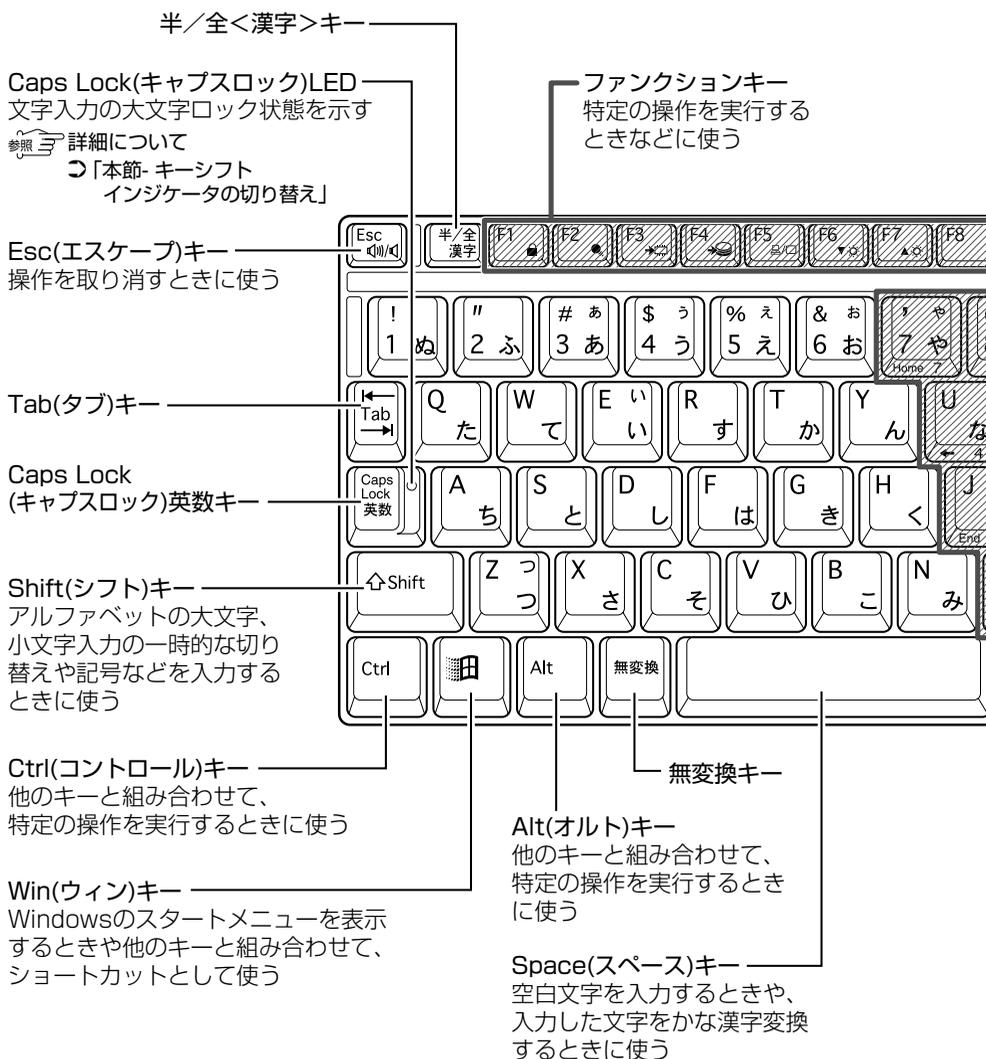


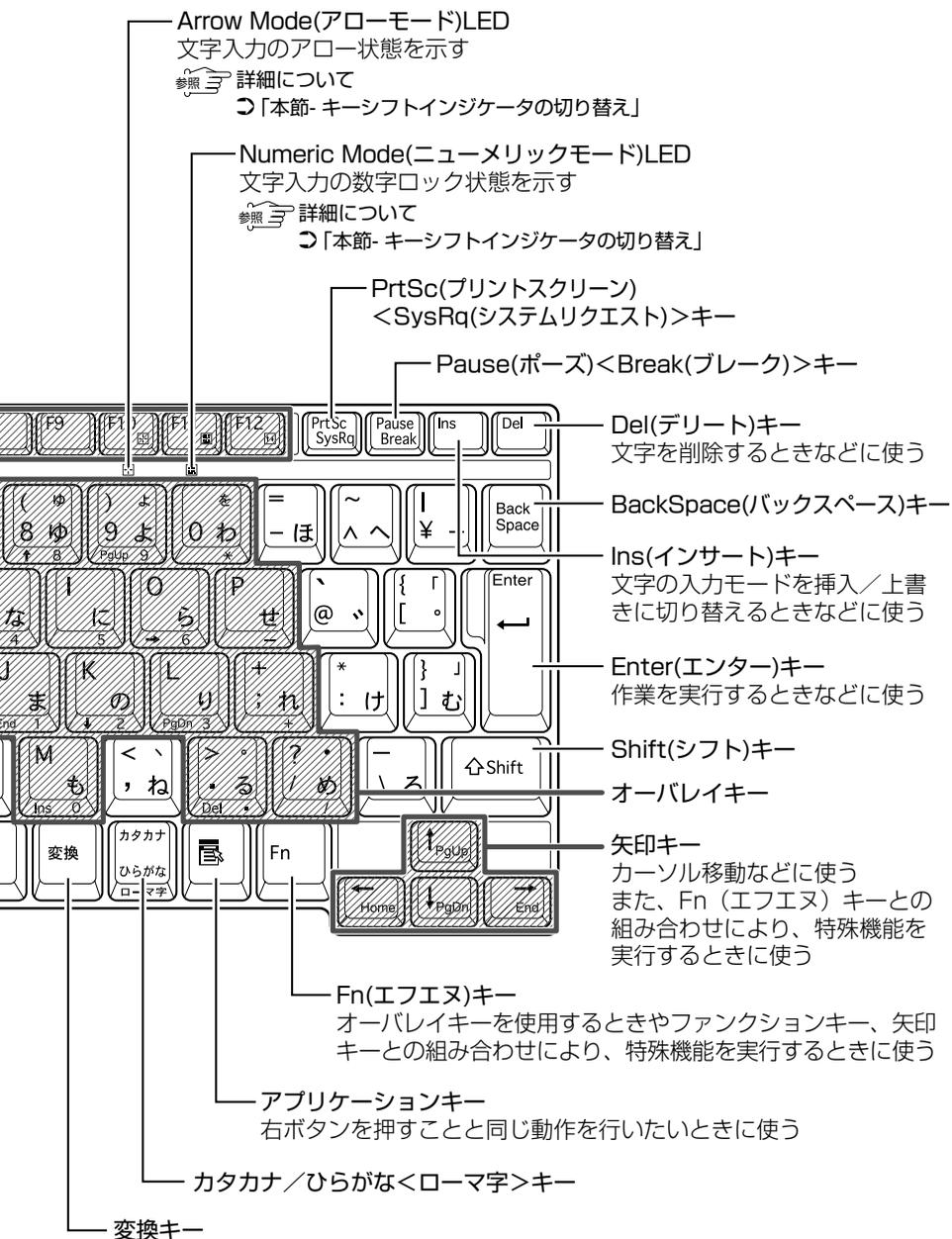
# 8

## キーボード

### 1 キーボードについて

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。





## ■ 文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。  
文字キーに印刷されている2～6種類の文字や記号は、キーボードの文字入力の状態によって変わります。

### ■ 左上

(Shift)キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの  
大文字が入力できます。

### ■ 右上

かな入力ができる状態で  
(Shift)キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの  
促音そくおん(小さい「っ」)、拗音ようおん  
(小さい「ゃ、ゅ、ょ」)  
が入力できます。

### ■ 左下

他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの  
小文字が入力できます。  
大文字ロック状態にすると、  
大文字も入力できます。

### ■ 右下

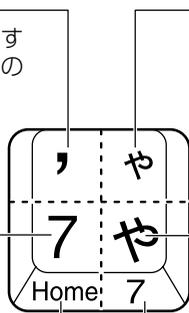
かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が  
入力できます。

### ■ 前面左

アロー状態のときに押すと、  
カーソル制御キーとして使えます。

### ■ 前面右

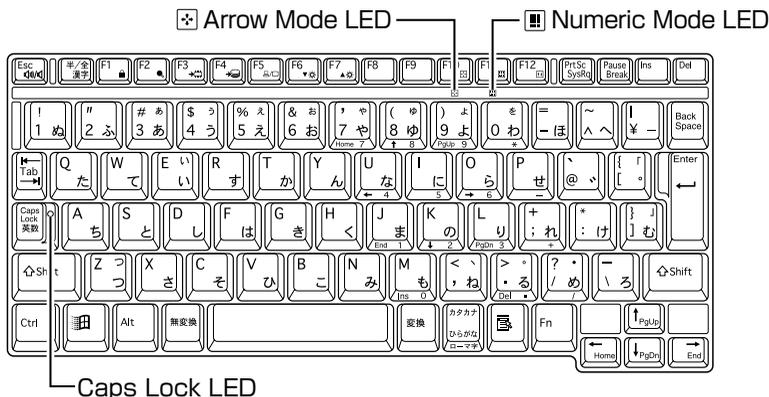
数字ロック状態のときに押すと、  
テンキーとして使えます。



参照 アロー状態、数字ロック状態 ⇨ 「本節 - (Fn)キーを使った特殊機能キー」

## キーシフトインジケータの切り替え

キーボードのキーは、状態によって入力できる文字が異なります。  
キーシフトインジケータは、入力状態を示します。



## ■ Caps Lock LED

文字キーを押すと、英字の大文字が入力できる「大文字ロック状態」を示します。

(Shift) + (Caps Lock 英数) キーを押すと、Caps Lock LED が点灯し、大文字ロック状態になります。

すべてのキーを大文字ロック状態で使用する場合、Arrow Mode (⇄) LED と Numeric Mode (123) LED は消灯の状態にしてください。

大文字ロックは数字ロックやかな入力よりも優先度が低いため、LED の状態が異なると、一部のキーが数字やキー制御のキーとなり、英字が入力できません。

MS-IME ツールバーを表示している場合は、[CAPS] の部分の色が変わります。



大文字ロック状態を解除するには、もう1度 (Shift) + (Caps Lock 英数) キーを押します。解除されると、Caps Lock LED は消灯します。

## ■ Arrow Mode LED

オーバーレイキーを押すと、カーソル制御キーとして使用できる「アロー状態」を示します。

(Fn) + (F10) キーを押すと、Arrow Mode (⇄) LED が点灯し、「アロー状態」になります。アロー状態でオーバーレイキーを押すと、カーソル制御キーとして使えます。

アロー状態を解除するときは、もう1度 (Fn) + (F10) キーを押します。解除されると Arrow Mode LED は消灯します。

## ■ Numeric Mode LED

オーバーレイキーを押すと、数字が入力できる「数字ロック状態」を示します。

(Fn) + (F11) キーを押すと、Numeric Mode (123) LED が点灯し、数字ロック状態になります。

数字ロック状態でオーバーレイキーを押すと、キーの前面右側に印刷された数字などの文字が入力できます。

## 入力に関する制御キー

文字入力するときに、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
(Ctrl) + (Caps Lock 英数)	<p>半角カタカナ入力ができる状態になります。 この状態で文字キーを押すと、キーの右下に印刷されたひらがなを半角カタカナで入力できます。 IME ツールバーを表示している場合は [KANA] の部分の色が変わります。</p>  <p>[KANA] の部分をクリックしても、半角カタカナ入力状態にできます。</p>
(Shift) + (Caps Lock 英数)	<p>大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。 IME ツールバーを表示している場合は [CAPS] の部分の色が変わります。</p>  <p>[CAPS] の部分をクリックしても、大文字ロック状態にできます。</p>

半角カタカナ入力や大文字ロック状態を解除するには、もう 1 度同じ操作をします。

ロック状態の優先度は、半角カタカナ入力状態>大文字ロック状態です。

## Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
(Fn)+(Esc) <スピーカのミュート>	内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にします。元に戻すときは、もう1度 (Fn)+(Esc) キーを押します。
(Fn)+(F1) <インスタントセキュリティ機能>	画面右上にカギアイコンが表示された後、画面表示がオフになります。キーボードなどからの入力はできなくなります。 [画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで [パスワードによる保護] または [再開時によろこそ画面に戻る] をチェックしていない場合：解除するには、次の操作を行なってください。 ① (Shift) キーや (Ctrl) キーを押す、またはタッチパッドを操作する [画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで [パスワードによる保護] または [再開時によろこそ画面に戻る] をチェックしている場合：解除するには、パスワード保護されたスクリーンセーバの解除と同じ操作をしてください。 参照 詳細について ◎「本章 3- スクリーンセーバのパスワードによる保護」
(Fn)+(F2) <省電力モードの設定>	(Fn)+(F2) キーを押すと、設定されている「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードが表示されます。 (Fn) キーを押したまま、(F2) キーを押すたびに、省電力モードが切り替わります。
(Fn)+(F3) <スタンバイ機能の実行>	(Fn)+(F3) キーを押し、表示される画面で [はい] ボタンをクリックすると、スタンバイ機能が実行されます。
(Fn)+(F4) <休止状態の実行>	(Fn)+(F4) キーを押し、表示される画面で [はい] ボタンをクリックすると、休止状態が実行されます。
(Fn)+(F5) <表示装置の切り替え>	表示装置を切り替えます。 参照 詳細について ◎「7章 10 CRT ディスプレイを接続する」

<p><b>(Fn) + (F6)</b>          &lt;ディスプレイの輝度を下げる&gt;</p>	<p><b>(Fn)</b>キーを押したまま、<b>(F6)</b>キーを押すたびに画面の輝度が1段階ずつ下がります。          表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。</p>
<p><b>(Fn) + (F7)</b>          &lt;ディスプレイの輝度を上げる&gt;</p>	<p><b>(Fn)</b>キーを押したまま、<b>(F7)</b>キーを押すたびに画面の輝度が1段階ずつ上がります。          表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。</p>
<p><b>(Fn) + (F10)</b>          &lt;オーバーレイ機能&gt;</p>	<p>キー前面左に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます (アロー状態)。          アロー状態を解除するには、もう1度<b>(Fn) + (F10)</b>キーを押します。</p>
<p><b>(Fn) + (F11)</b>          &lt;オーバーレイ機能&gt;</p>	<p>キー前面右に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます (数字ロック状態)。          数字ロック状態を解除するには、もう1度<b>(Fn) + (F11)</b>キーを押します。          アプリケーション (Microsoft Excel など) によっては異なる場合があります。</p>
<p><b>(Fn) + (F12)</b>          &lt;スクロールロック状態&gt;</p>	<p>一部のアプリケーションで<b>(↑) (↓) (←) (→)</b>キーを画面スクロールとして使用できます。          ロック状態を解除するには、もう1度<b>(Fn) + (F12)</b>キーを押します。</p>
<p><b>(Fn) + (↑)</b>          &lt;PgUp(ページアップ)&gt;</p>	<p><b>(Fn)</b>キーを押したまま、<b>(↑)</b>キーを押すと、前のページに移動できます。</p>
<p><b>(Fn) + (↓)</b>          &lt;PgDn(ページダウン)&gt;</p>	<p><b>(Fn)</b>キーを押したまま、<b>(↓)</b>キーを押すと、前のページに移動できます。</p>
<p><b>(Fn) + (←)</b>          &lt;Home(ホーム)&gt;</p>	<p><b>(Fn)</b>キーを押したまま、<b>(←)</b>を押すと、カーソルが行または文書の最初に移動します。</p>
<p><b>(Fn) + (→)</b>          &lt;End(エンド)&gt;</p>	<p><b>(Fn)</b>キーを押したまま、<b>(→)</b>を押すと、カーソルが行または文書の最後に移動します。</p>

## ⌘ キーを使ったショートカットキー

⌘ (ウイン) キーと他のキーとの組み合わせを、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
⌘ + (R)	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
⌘ + (M)	すべてをアイコン化する
(Shift) + ⌘ + (M)	すべてのアイコン化を元に戻す
⌘ + (F1)	『ヘルプとサポート』を起動する
⌘ + (E)	[マイコンピュータ] 画面を表示する
⌘ + (F)	ファイルまたはフォルダを検索する
(Ctrl) + ⌘ + (F)	他のコンピュータを検索する
⌘ + (Tab)	タスクバーのボタンを順番に切り替える
⌘ + (Break)	[システムのプロパティ] 画面を表示する

## 特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	操作
タスクマネージャの起動	(Ctrl) + (Alt) + (Del)	[Windows タスク マネージャ] 画面が表示されます。アプリケーションやシステムの強制終了を行います。
画面コピー	(PrtSc)	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	(Alt) + (PrtSc)	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

## 2 日本語を入力するには

本製品には、日本語入力システム MS-IME が用意されています。  
日本語入力システムとは、日本語を入力するためのソフトウェアです。

起動したときは、英数字の入力ができるようになっています。次の方法で日本語を入力できるようになります。

### ■ 半/全キーを押す

日本語入力に切り替わると、IME ツールバーは次のように表示されます。

#### 【IME ツールバーを表示している場合】

IME ツールバーは、デスクトップの右端に表示されています。



#### 【IME ツールバーを最小化している場合】

IME ツールバー上で右クリックし、表示されるメニューから「最小化」をクリックすると、IME ツールバーが最小化されます。

最小化した IME ツールバーは、タスクバーに表示されます。

元に戻すには、IME ツールバー上で右クリックし、表示されるメニューから「言語バーの復元」をクリックしてください。



パソコンで入力できる文字には、「半角」「全角」2種類の大きさがあります。「半角」は漢字モードではないときに普通に表示される文字で、少し縦長です。「全角」は半角を二つあわせたくらいの大きさになります。英数字やカタカナは半角・全角どちらでも入力できます。ひらがなと漢字は全角でのみ入力できます。

例

A ア  
(半角)

A ア  
(全角)

## 入力モードの切り替え

---

ローマ字入力 that 既定値になっています。  
ローマ字入力とかな入力は次の方法で切り替えられます。

### ■ **(Alt) + (カタカナひらがな) キーを押す**

この場合、パソコンを再起動するとローマ字入力に戻ります。  
常に同じ入力モードで使用する場合は、次の方法で設定します。

- ① ツールバーの [ツール] アイコン (  ) をクリックする
- ② 表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
- ③ [全般] タブで [ローマ字入力/かな入力] の設定をする

## 漢字変換

---

入力した文字を漢字変換するには、(Space) キーを押します。  
目的の漢字ではない場合は、もう1度 (Space) キーを押して、他の漢字を表示します。

さらに (Space) キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

(↑)(↑) キーで選択し、(Enter) キーを押します。

 参照 MS-IME の使いかた ⇨ 『MS-IME のオンラインヘルプ』

-  ● ツールバーの [ヘルプ] アイコン (  ) をクリックし、  
[Microsoft(R)IME スタンダード 2002] → [目次とキーワード] をクリックすると、MS-IME のオンラインヘルプを見ることができます。

# 9

## CD

本製品のスリムセレクトベイには標準でCD-R/RW ドライブが用意されています。

別売りのマルチドライブと差し替えると、DVD もお使いになれます。



マルチドライブについて

☞ 「7章 2 スリムセレクトベイ機器を差し替える」

同梱の『安心してお使いいただくために』に、CD をお使いになるときに守っていただきたいことが記述されています。

CD をお使いになる場合は、あらかじめその記述をよくお読みください。



『安心してお使いいただくために CD / DVD の取り扱いについて』

### ⚠ 注意

- ・ ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。ドライブの故障の原因になります。
- ・ Slim Select Bay  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD を取り出す操作をしないでください。CD が傷ついたり、ドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中のCD のデータやドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ ドライブのトレイを開けたときに、CD が回転している場合には、停止するまでCD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。



- ドライブに保守・修理が必要になった場合には、お近くの保守サービスにご相談ください。

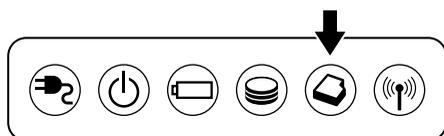


イジェクトホールについて

☞ 「本節 2- ディスクトレイが出てこない場合」

## ドライブに関する表示

ドライブが動作しているときは、Slim Select Bay  LED が点灯します。



## 1 CD

### 使用できる CD

#### ■ 読み込みできる CD

- ① 音楽用 CD  
8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- ② フォト CD  
普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録しています。
- ③ CD-ROM  
使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものが使用できます。
- ④ CD エクストラ  
記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分け、両方の再生装置でそれぞれ再生します。
- ⑤ CD-R
- ⑥ CD-RW

## ■ 書き込みできる CD

### ① CD-R

書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。

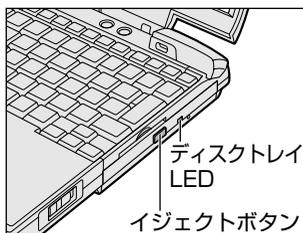
CD-R メディアに書き込む際には、8 倍速対応 CD-R メディアをご使用ください。

### ② CD-RW

1 / 2 / 4 倍速対応（マルチスピード）CD-RW メディアまたは High-Speed CD-RW（4～10 倍速）対応メディアをご使用ください。High-Speed CD-RW 対応メディアを使用した場合の書き込み速度は 8 倍速になります。

## 2 CDのセットと取り出し

CD は、電源が入っているときにセット／取り出しができます。



次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

- 電源を入れた直後
- リセットした直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- Slim Select Bay  LED が点灯しているとき

これらの場合には、ディスクトレイ LED の点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。



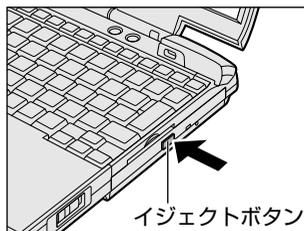
- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブに CD が入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。

## CDのセット

### 1 パソコン本体の電源を入れる

### 2 イジェクトボタンを押す

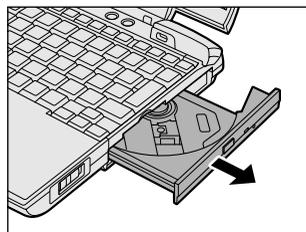
イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



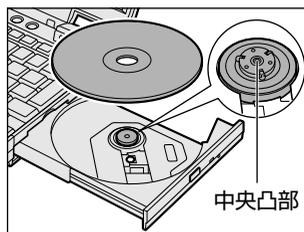
- メモ** ●電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

### 3 ディスクトレイを引き出す

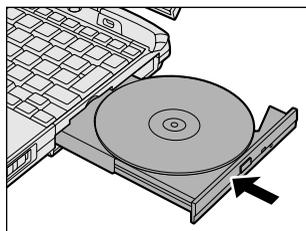
CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。



- ### 4 文字面を上にして、CDをディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする
- カチッと音がして、セットされていることを確認してください。



- ### 5 カチッと音がするまで、ディスクトレイを押し戻す





- CD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD を正しくディスクトレイにセットしないと CD を傷つけることがあります。



- 傷ついたり汚れのひどい CD の場合は、セットしてから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭きとってから再生してください。
- CD の特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

## CD の取り出し

---

**1** パソコン本体の電源を入れる

**2** イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

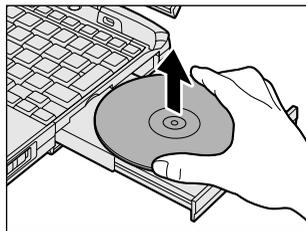
**3** ディスクトレイを引き出す

CD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

**4** CD の両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す

CD を取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。

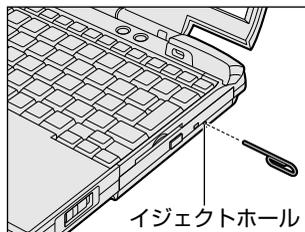
簡単に取り出せるようになります。



**5** カチッと音がするまで、ディスクトレイを押し戻す

### 【ディスクトレイが出てこない場合】

電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、ドライブのイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押ししてください。ディスクトレイが出てきます。



- 電源を入れ、ドライブのディスクトレイLEDが点滅しなくなったことを確認してから、ドライブのイジェクトボタンを押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディスクトレイが出てこない場合があります。

## 3 CDへの書き込み

本製品では、CD-RW、CD-R にデータを書き込むことができます。  
書き込みを行うためのアプリケーション「Easy CD Creator」イージーシーディークリエイター、「DirectCD」ダイレクトシーディーを使用します。

### インストール方法

「Easy CD Creator」、「DirectCD」はあらかじめ本製品にはインストールされていません。  
次の手順に従って、インストールしてください。

- 1 添付の「Easy CD Creator」のインストールディスクをセットする
- 2 画面の指示に従ってインストールする  
「Easy CD Creator」と「DirectCD」が同時にインストールされます。
- 3 再起動する

## CD-RW、CD-Rに書き込む前に

---

CD-RW、CD-Rに書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうで使用ください。

守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。

マルチドライブ（別売り）には書き込みエラーを防ぐバッファアンダーランエラー防止機能を内蔵していますが、電源切断やドライブへのショックなどの本体異常や、記録メディアの状態などによっては、処理が正常に行えずエラーとなる場合があります。

書き込みに失敗したCD-Rの損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD-RW、CD-Rに保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- CD-Rメディアに書き込む際には、8倍速対応CD-Rメディアをご使用ください。
- CD-RWメディアに書き込む際には、1 / 2 / 4倍速対応（マルチスピード）CD-RWメディアまたはHigh-Speed CD-RW（4～10倍速）対応メディアをご使用ください。High-Speed CD-RW対応メディアを使用した場合の書き込み速度は最大8倍速になります。
- 次のメーカーのCD-RW、CD-Rをご使用になることをおすすめします。  
CD-RW：三菱化学（株）、リコー（株）  
CD-R：太陽誘電（株）、三井化学（株）、三菱化学（株）、リコー（株）、日立マクセル（株）

上記以外のメーカーのCD-RW、CD-Rをご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。

- 必ずACアダプタを接続して電源コンセントに接続してください。バッテリー駆動で使用しながら書き込みを行うと、バッテリーの消耗などにより書き込みに失敗するおそれがあります。
- スクリーンセーブなどCPUに負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。

- LAN を経由しての書き込みは行わないでください。LAN を経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行なってください。
- 本製品に付属の「DirectCD」「Easy CD Creator」以外の CD-RW、CD-R 書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。

 省電力機能について ⇨ 「5章 3 省電力の設定をする」

- 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。

-  ● CD-R に書き込みできるのは 1 回限りです。書き込みに失敗した CD-R は再利用できませんが、CD-RW は内容を消去すると再利用できます。

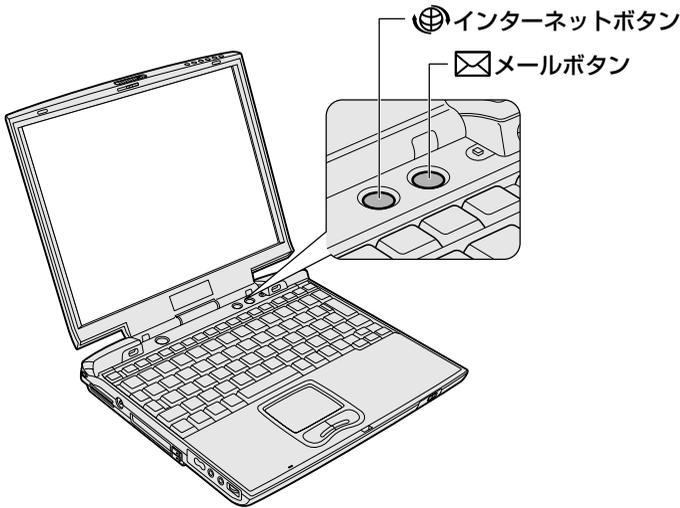
## 書き込み／削除を行うときは

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。  
PC カード、SD メモリカード、USB 対応機器、CRT ディスプレイ、i.LINK 対応機器
- パソコン本体から携帯電話、無線機など電波を発生する機器を離してください。
- 重要なデータについては、必ず書き込み終了後、データが正しく書き込まれたことを確認してください。
- 「Easy CD Creator」の「data CD project」（データ CD プロジェクト）で、重要なデータを書き込む場合は、メニューバーから [ファイル] → [CD プロジェクトプロパティ] をクリックし、[全般] タブで [書き込み後 CD 上のファイルを検証する] をチェックしてください。  
正常に書き込まれていることを確認できます。

# 10

## ワンタッチボタン

本製品には2つのワンタッチボタンがあります。  
ボタンを押すだけで、簡単にインターネットブラウザソフトやメールソフトを起動することができます。



各ボタンを押すと設定されているアプリケーションが起動します。  
起動するアプリケーションは、「東芝コントロール」で自由に変更できます。  
ご購入時に各ボタンに設定されているアプリケーションは次のとおりです。

- インターネットボタン ..... Internet Explorer
- メールボタン ..... アプリケーションモデルの場合 : Outlook  
アプリケーションモデル以外の場合  
: Outlook Express

### 【パソコン本体の電源が入っていないとき】

電源が入り、設定されているアプリケーションが起動します。

### 【スタンバイ状態／休止状態のとき】

スタンバイ状態／休止状態を実行する直前の状態が再現されてから、設定されているアプリケーションが起動します。

## アプリケーションを変更する

各ボタンを押して起動するアプリケーションを、自由に設定することができます。

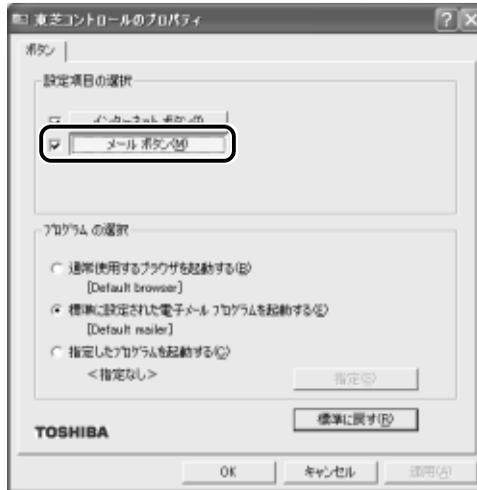
ここでは、メールボタンに「ペイント」を設定する例で変更方法を説明します。

1 [コントロールパネル] を開き、[  プリンタとその他のハードウェア ] をクリックする

2 [  東芝コントロール ] をクリックする  
[東芝コントロールのプロパティ] 画面が表示されます。

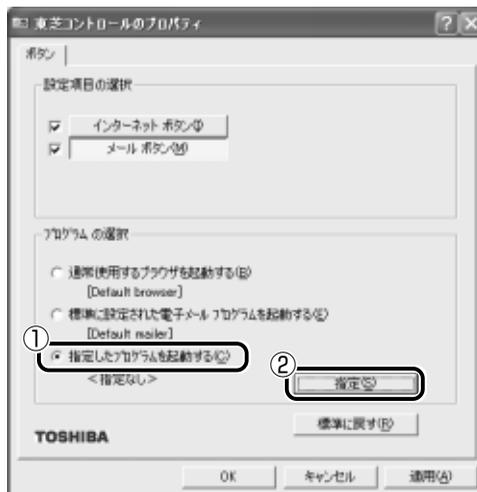


### 3 [設定項目の選択] の [メールボタン] をクリックする



画面の下半部分が [プログラムの選択] に切り替わります。

### 4 [指定したプログラムを起動する] をチェックし①、 [指定] ボタンをクリックする②





● 次のように設定されています。

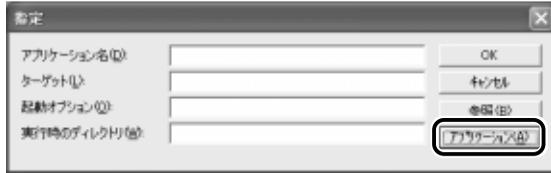
[通常使用するブラウザを起動する] : Internet Explorerの起動。

[標準に設定された電子メールプログラムを起動する]

: Outlook Expressの起動。アプリケーションモデルの場合、ご購入時はOutlookが起動します。

[指定] 画面が表示されます。

## 5 [アプリケーション] ボタンをクリックする



[アプリケーションエクスプローラ] 画面が表示されます。

## 6 [フォルダ] の [プログラム] → [アクセサリ] をダブルクリックする



[アプリケーション] に表示されているアイコンが切り替わります。

## 7 [アプリケーション] の [ペイント] アイコン ( ) をクリックし、[OK] ボタンをクリックする



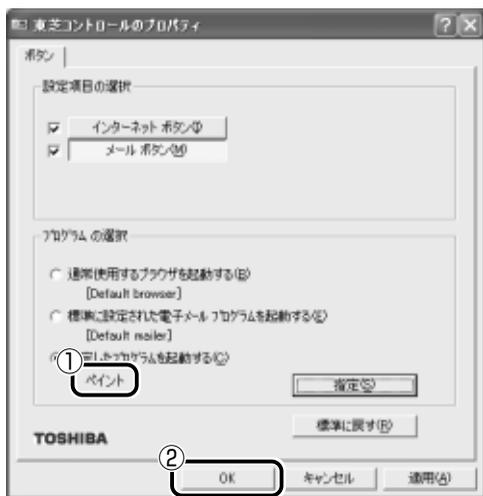
[指定] 画面に戻ります。

- 8 [アプリケーション名] にペイントが設定されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



[東芝コントロールのプロパティ] 画面に戻ります

- 9 [指定したプログラムを起動する] の下に「ペイント」と表示されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



メールボタンにペイントが設定されます。



- ご購入時の設定に戻す場合は、[東芝コントロールのプロパティ] 画面で [標準に戻す] ボタンをクリックしてください。

# 11

## セキュリティロック

### 1章

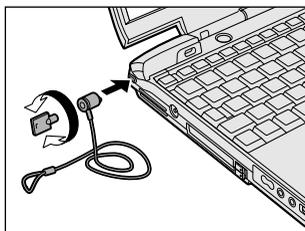
#### 本製品の機能

セキュリティロック・スロットに、チェーンなどを接続して、盗難を防止します。



- セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものか

- 1 セキュリティロック・スロットに市販のセキュリティロック用の機器を接続する





# 2章 インターネットを 楽しもう

- 1 Internet Explorer の使いかた ..... 70
- 2 簡単にホームページに接続する ..... 95
- 3 プログラムファイルをダウンロードする ..... 96

# 1

## Internet Explorer の使いかた

インターネット エクスプローラ  
ホームページを楽しむために、Internet Explorerの使いかたを覚えましょう。

\* 本章で使用している画面は表示例です。ホームページのアドレス、画面などは、変更になる場合があります。

### 1 インターネットボタンでワンタッチスタート!

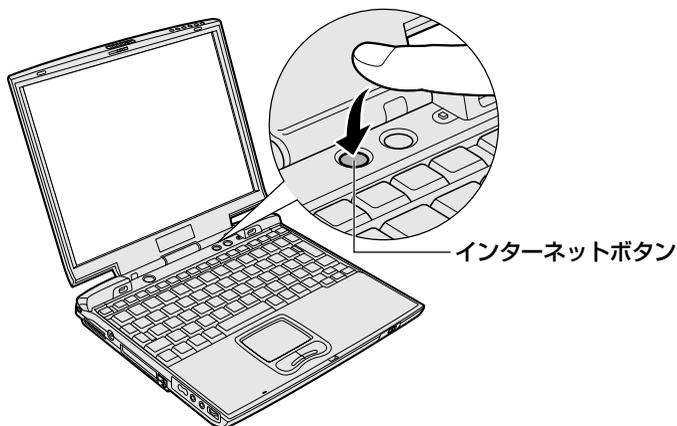
インターネットボタンを押すだけで、インターネットに接続できます。  
プロバイダとの契約やパソコンの設定が完了してからご使用ください。



インターネットの接続方法について

☞ 『まずはこれから インターネットに接続しよう』

#### 1 インターネットボタン (🌐) を押す



Internet Explorerが起動します。

パソコン本体の電源が入っていないときは、電源が入り Windows のパスワードを入力した後に Internet Explorer が起動します。スタンバイ状態を実行中、または休止状態のときにボタンを押すと、電源を切る前の状態が再現された後、Internet Explorer が起動します。

インターネットボタンを押したときに起動するブラウザ（アプリケーション）を変更することができます。



インターネットボタンの設定方法

➡ 「1章 10- アプリケーションを変更する」

## 2 Internet Explorer画面

### メニューバー

いろいろな操作が種類別にまとめられています。それぞれのボタンをクリックするとメニューが表示され、さらに細かい操作を選んでいきます。

### ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。その中でも特によく使われるボタンの働きを次に説明します。

 戻る ▾ 1つ前の画面に戻ります。

 ▾ 1つ先の画面に進みます。

 ページの読みこみを中止します。

 ページを最新の情報に更新します。

 どのページを表示していても、スタートページが表示されます。  
⇒「本節 5 起動したときに表示するホームページを変更する」

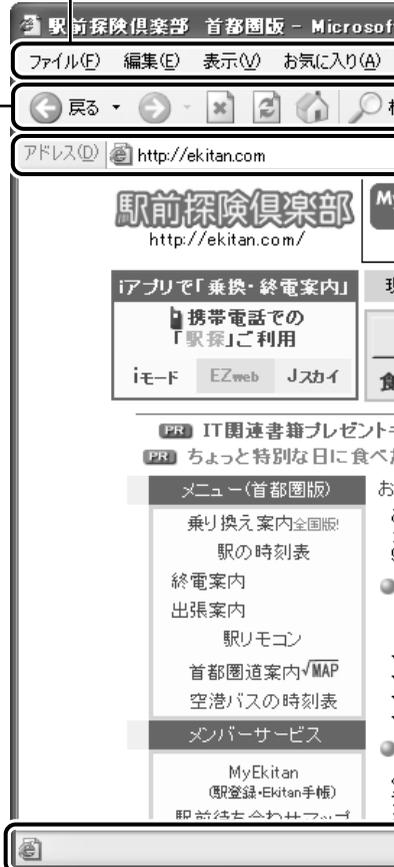
 検索 検索の画面を表示します。  
⇒「本節 3 ホームページを検索する」

 お気に入り よく見るページなどを登録し、簡単にページが開けるようにします。  
⇒「本節 4 よく見るホームページを登録する（お気に入り）」

 以前に表示したページを表示します。  
⇒「本節 9 以前に表示したホームページを表示する」

 メールソフトを起動します。

 ページを印刷します。



## アドレスバー

ホームページのアドレスがわかっている場合に入力します。

アドレスとは「http://」の後に続く英数字のことで、ホームページの場所を示します。

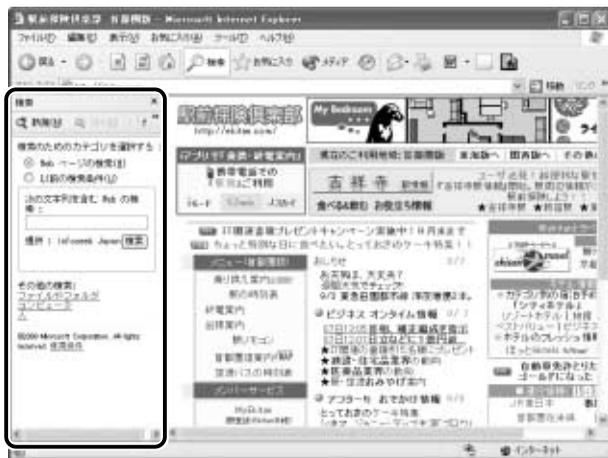


## ステータスバー

接続状態などを表示します。

### 3 ホームページを検索する

- 1 ツールバーの「検索」ボタン (  ) をクリックする  
左側に検索画面が表示されます。



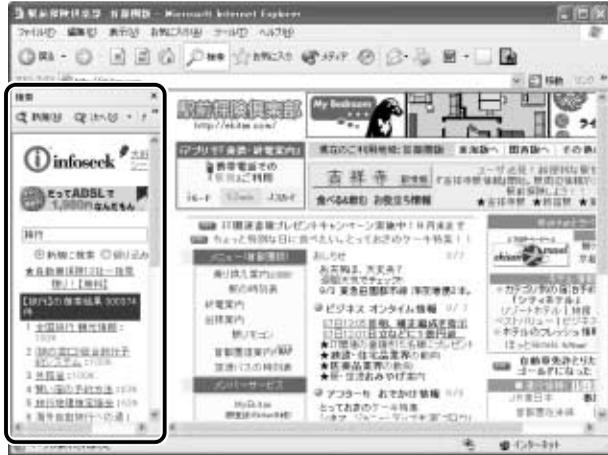
- 2 探したいページのキーワードを入力する  
ここでは「旅行」と入力してみます。

次の文字列を含む Web  
の検索 :

提供 :

### 3 [検索] ボタンをクリックする

検索結果が表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると、ページが表示されます。



## 4 よく見るホームページを登録する（お気に入り）

よく見るホームページを「お気に入り」に登録しておきます。「お気に入り」に登録しておくと、アドレスなど面倒な入力をせずに、見たいホームページを表示できます。アドレスとは「http://」の後に続く英数字のことで、ホームページの場所を示す住所のようなものです。

### 【お気に入り】に登録する

- 1 登録したいホームページを表示する  
ここでは「http://ekitan.com/」のページを例にして説明します。
- 2 メニューバーの【お気に入り】をクリックし①、表示されたメニューから【お気に入りに追加】をクリックする②



- 3 【名前】を入力する  
ここでは、「駅前探検倶楽部 首都圏版」で登録します。



- 4 登録するフォルダを指定しない場合は [OK] ボタン、指定する場合は [フォルダ] ボタンをクリックする  
フォルダを指定しない場合は登録完了です。  
フォルダを指定する場合は手順5以降をご覧ください。

## 5 [フォルダ] を指定する

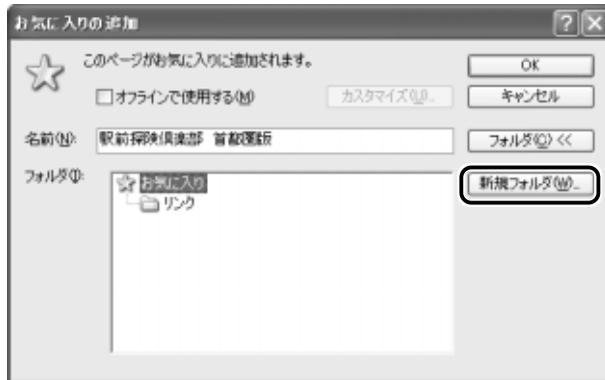
### ■ 既存のフォルダに登録する場合

- ① 目的のフォルダをクリックする
- ② [OK] ボタンをクリックする

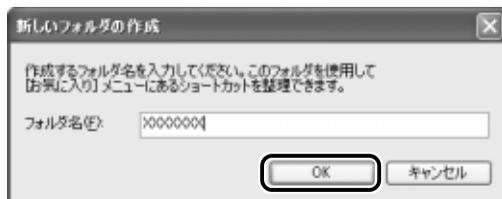


### ■ 新規にフォルダを作成する場合

- ① [新規フォルダ] ボタンをクリックする

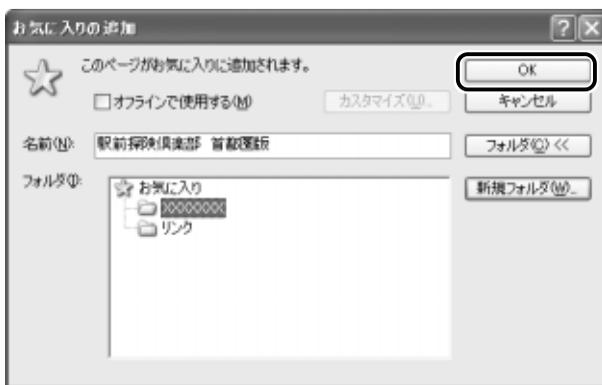


- ② 名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする



フォルダが作成されました。

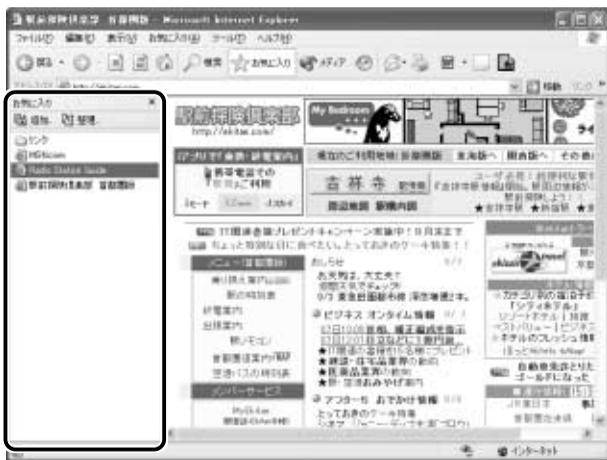
- ③ 作成したフォルダが反転表示している状態で [OK] ボタンをクリックする



## 【お気に入り】 からホームページを表示する

### ■ 方法 1

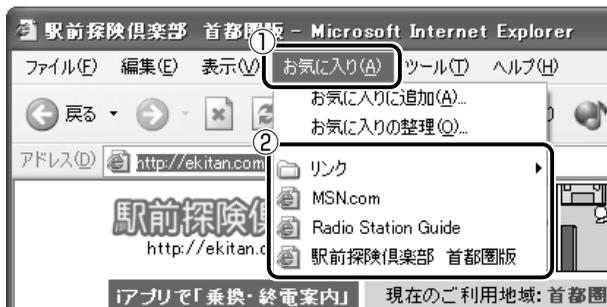
- 1 ツールバーの【お気に入り】 ボタン (  ) をクリックする  
左側に【お気に入り】 画面が表示されます。



- 2 目的のフォルダまたはホームページをクリックする

### ■ 方法 2

- 1 メニューバーの【お気に入り】 をクリックし①、表示されたメニューからフォルダまたはページをクリックする②



## 【お気に入り】を整理する

- 1 メニューバーの【お気に入り】をクリックし①、表示されたメニューから【お気に入りの整理】をクリックする②



【お気に入りの整理】画面が表示されます。



## ■ 新しくフォルダを作成する

- 1 [フォルダの作成] ボタンをクリックする  
[新しいフォルダ] が作成されます。
- 2 名前を入力する

## ■ 登録してあるフォルダを変更する

- 1 変更したいフォルダまたはホームページをクリックし、  
[フォルダへ移動] ボタンをクリックする  
フォルダの一覧が表示されます。
- 2 移動先のフォルダをクリックし、[OK] ボタンをクリックする

## ■ [お気に入り] から削除する

- 1 削除したいフォルダまたはホームページをクリックし、[削除] ボタンをクリックする  
確認のメッセージが表示されます。
- 2 [[はい] ボタンをクリックする

## 5 起動したときに表示するホームページを変更する

Internet Explorer を起動したときに表示されるホームページを「スタートページ」といいます。スタートページは、自由に設定することができます。

- 1 スタートページにしたいホームページを表示する  
ここでは「http://ekitan.com/」を例にして説明します。
- 2 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [インターネットオプション] をクリックする②



- 3 [全般] タブの [ホームページ] で [現在のページを使用] ボタンをクリックする①  
[アドレス] に、表示しているホームページのアドレスが表示されます②。  
[標準設定] ボタンをクリックすると、ご購入時の設定に戻ります。



## 4 [OK] ボタンをクリックする

- メモ** ● [インターネットオプション] 画面の [アドレス] にスタートページにしたいホームページのアドレスを直接入力して設定することもできます。この場合、あらかじめホームページを表示しておく必要はありません。

## スタートページに戻る

他のホームページを表示していても、[ホーム] ボタンをクリックするだけでスタートページへ移動することができます。

### 1 ツールバーの [ホーム] ボタン ( ) をクリックする



スタートページが表示されます。



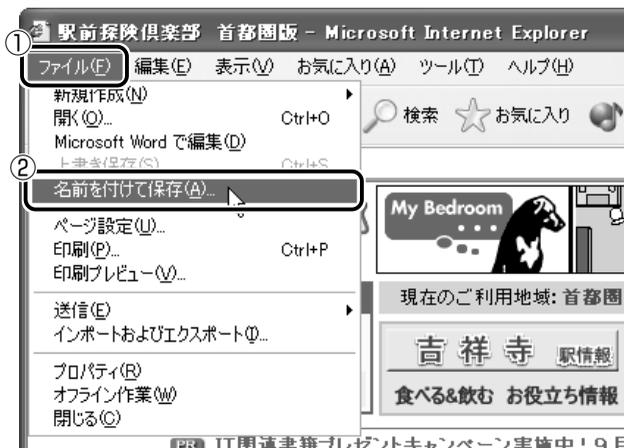
## 6 ホームページを保存する

後でゆっくり見たいホームページや保存しておきたいホームページを文章やイラストごとダウンロードし、1つのファイルとして保存できます。

### 1 保存したいホームページを表示する

ここでは「http://ekitan.com/」を例にして説明します。

### 2 メニューバーの【ファイル】をクリックし①、表示されたメニューから【名前を付けて保存】をクリックする②



[Web ページの保存] 画面が表示されます。

### 3 保存先、ファイル名を選択する

保存する場所、ファイル名を指定してください。  
ここでは、[マイドキュメント] に保存します。



[ファイルの種類] で保存する内容を選択できます。

[Web ページ、完全 (\*.htm ; \*.html)] :

表示されているホームページの内容がすべて表示されます。  
保存されるときは画像ファイルなどは別のファイルで保存されます。

[Web アーカイブ、単一のファイル (\*.mht)] :

表示されているホームページの内容が1つのファイルですべて保存されます。

[Web ページ、HTML のみ (\*.htm、\*.html)] :

表示されているホームページが htm ファイルの形式で保存されますが画像などは保存されません。

[テキストファイル (\*.txt)] :

文字だけが保存されます。画面上では文字であってもその文字が画像として作成されていた場合は保存されません。表示するときは「メモ帳」などで開きます。

ここでは、[Web ページ、完全 (\*.htm、\*.html)] を選択した場合で説明します。

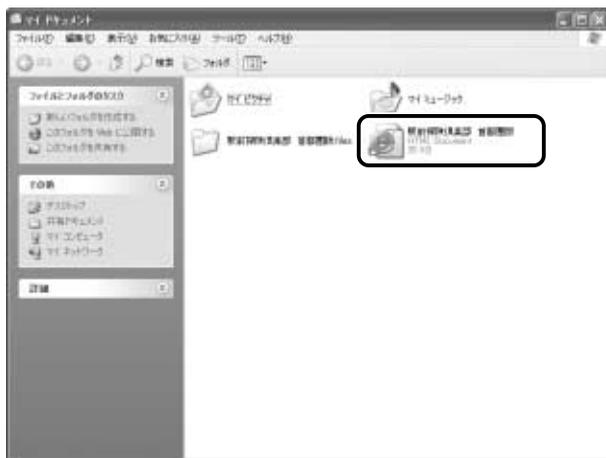
[エンコード] では [日本語 (シフト JIS)] を選択してください。

#### 4 [保存] ボタンをクリックする

ダウンロードが開始され、ホームページが保存されます。



ホームページのファイルと同じファイルが「マイドキュメント」に保存されます。  
保存したページを見るには、ホームページのファイルをダブルクリックします。



ホームページのファイルと同じ名前のフォルダには、そのページに使われているイラストなどが保存されています。  
ホームページのファイルあるいはフォルダのどちらかを移動あるいは削除すると、もう一方も一緒に移動あるいは削除されますので、同じ場所に保存してください。

## 7 ホームページの画像を保存する

表示しているホームページ上の画像をパソコンに保存することができます。ここでは「[http://dynabook.com/pc/entame/katsuyo/blth/index\\_j.htm](http://dynabook.com/pc/entame/katsuyo/blth/index_j.htm)」のページの画像を例にして説明します。

- \* このホームページに記載のイラスト・写真・文章の無断の転載を禁じます。すべての著作権は株式会社東芝に帰属します。



### 1 保存したい画像の上にポインタをあわせる





## 8 ホームページの画像を壁紙に設定する

ホームページ上の画像をデスクトップの壁紙にすることができます。  
ここでは「[http://dynabook.com/pc/entame/katsuyo/blth/index\\_j.htm](http://dynabook.com/pc/entame/katsuyo/blth/index_j.htm)」  
のページの画像を例にして説明します。

- \* このホームページに記載のイラスト・写真・文章の無断の転載を禁じます。  
すべての著作権は株式会社東芝に帰属します。



### 1 保存したい画像の上にポインタをあわせる



- 2 右クリックし、表示されたメニューから [背景に設定] をクリックする



画像が壁紙に設定されます。  
Internet Explorerの画面の [最小化] ボタン (  ) をクリックし、デスクトップ画面の壁紙を確認してください。



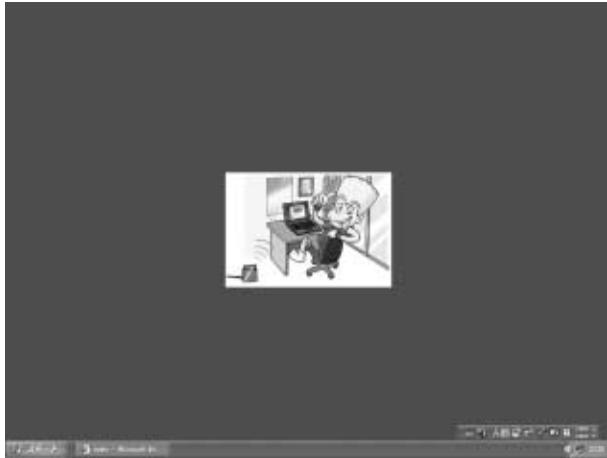
## ■ 壁紙を中央に表示する／並べて表示する

壁紙を小さく中央に表示したり、同じ画像をいくつも画面いっぱいに並べて表示することができます。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[  デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- 2 [デスクトップの背景を変更する] をクリックする
- 3 [デスクトップ] タブの [表示位置] で、中央に表示したい場合は [中央に表示]、並べたい場合は [並べて表示] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

[デスクトップの表示とテーマ] 画面の [最小化] ボタン (  ) をクリックし、デスクトップ画面の壁紙を確認してください。

### 中央に表示



並べて表示



## 9 以前に表示したホームページを表示する

過去に表示したことがあるホームページの履歴は、一定期間保存されています。履歴を検索して、以前に表示したホームページをもう1度表示させることができます。

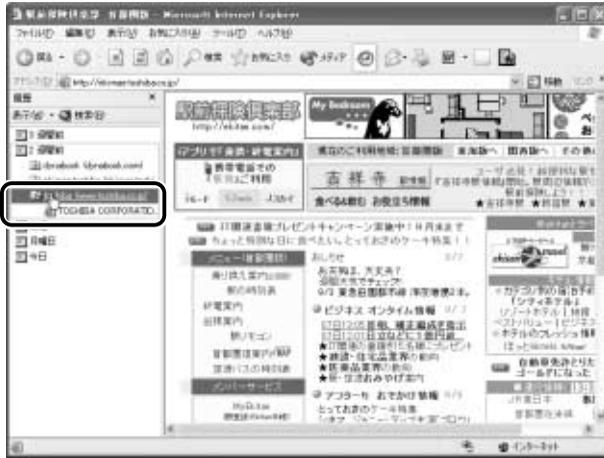
- 1 ツールバーの「履歴」ボタン (  ) をクリックする  
左側に履歴画面が表示されます。



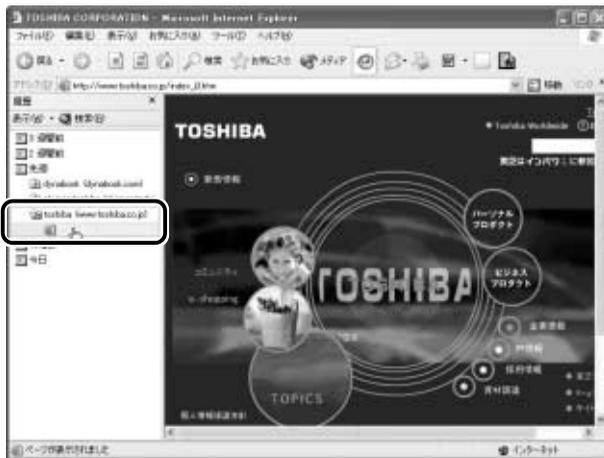
- 2 目的のホームページを表示した週または曜日をクリックする  
その週または曜日に表示したホームページの場所の一覧が表示されます。



- 3 目的のホームページがある場所をクリックする  
その場所で表示したホームページの一覧が表示されます。



- 4 目的のホームページをクリックする  
ホームページが表示されます。



ツールバーの「履歴」ボタンをもう1度クリックすると、左側の履歴画面が閉じます。

- メモ ● 履歴の保存期間は、メニューバーの「ツール」→「インターネットオプション」→「全般」タブの「履歴」で設定することができます。

# 2

## 簡単にホームページに接続する

「東芝ネットメニュー」のアイコンをクリックすると、アドレスを入力することなく簡単にホームページに接続できます。

- 1 [スタート] → [東芝ネットメニュー] をクリックする
- 2 接続したいメニューのアイコンをクリックする

「閉じる」ボタン  
「東芝ネットメニュー」を閉じます。



接続したいメニューのアイコンをクリックする  
ブラウザが起動し、ホームページに接続します。

# 3

## プログラムファイルをダウンロードする

ホームページには、プログラムなどのファイルを提供しているものがあります。ファイルのダウンロードを選択すると、次のような画面が表示されます。



ホームページの場所からプログラムなどのファイルを実行する方法は、実行に時間がかかったり、実行中に何らかの理由でインターネットへの接続が切断されるなど、失敗する場合があります。

そのため、ホームページからファイルをダウンロードして自分のパソコンに保存する [保存] をおすすめします。

この方法には次のような利点があります。

- ファイルにウイルスはないか、チェックできる
- 他のアプリケーションを終了してから、ファイルを実行することができる
- インターネットへの接続を切断してから、ファイルを実行することができる

ファイルをダウンロードしてパソコンに保存する方法を説明します。

## 1 [保存] ボタンをクリックする



## 2 保存先、ファイル名を選択する

保存する場所、ファイル名を指定してください。



### 3 [保存] ボタンをクリックする

ダウンロードが開始されます。

ファイルサイズが大きいと、ダウンロードに時間がかかります。

ダウンロードが終了すると、終了画面が表示されます。



- [ダウンロードの完了後、このダイアログボックスを閉じる] をチェックすると、閉じるための操作をしなくてもダウンロード終了後、画面が閉じます。

### 4 [閉じる] ボタンをクリックする



ダウンロードしたファイルを実行するには、保存したファイルをダブルクリックします。

# 3章 電子メールを使おう

- 1 電子メールとは? ..... 100
- 2 Outlook Express の使いかた ..... 102
- 3 ペットにメールを運んでもらう ..... 145
- 4 知っておきたいマナー ..... 148

# 1

## 電子メールとは？

### 1 電子メールとは

電子メールとは、インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも短時間で届きます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。さらに、画像や文書ファイルなどのデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。

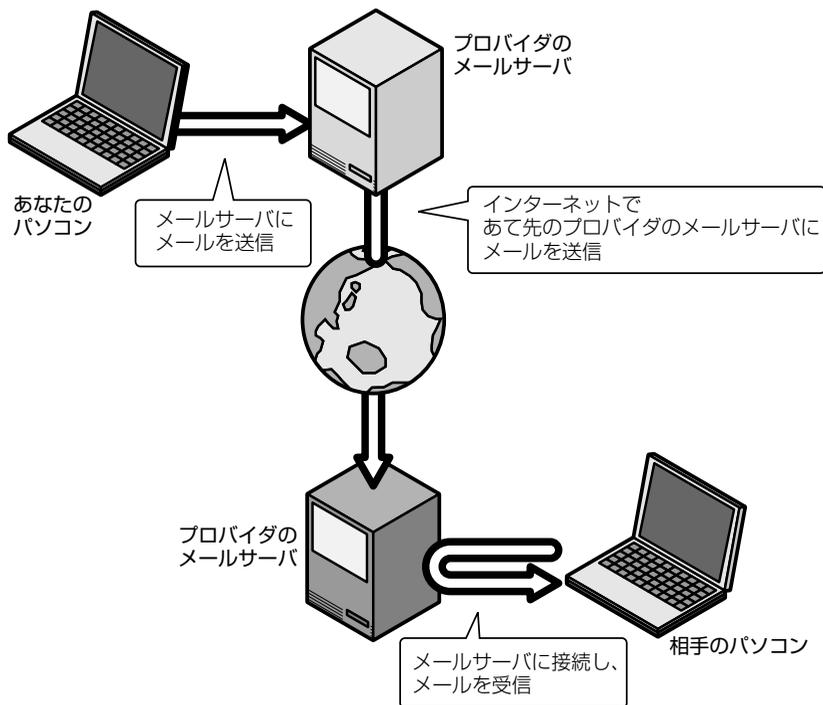
「Eメール（Electronic Mailの略）」や、「インターネットメール」、「メール」と呼ぶこともあります。本書では「メール」という言葉を使用します。

## 2 メールのおしくみ

パソコンで作った文章や画像などのデータは、電話回線を介してプロバイダのメールサーバに届きます。メールサーバとは、メールの配信サービスを提供するコンピュータです。プロバイダのメールサーバは、あて先のプロバイダのメールサーバにデータを送ります。データを受け取ったプロバイダは、受信者別にメールを整理して保存します。受信者は、プロバイダのメールサーバに接続し、自分あてに届いたメールを受け取り、パソコンに保存します。このように、メールは、自分の都合に合わせて送受信することができます。



- **メールサーバ** ● メール配信では、送信のために利用されるSMTPサーバと、届いたメールを保存し、受信者が取りにくるのを待つPOP3サーバの2種類がある。



# 2

## Outlook Express の使いかた

本製品にはメールソフト「アウトルック エクスプレスOutlook Express」がプレインストールされています。

プロバイダによっては、Outlook Express が使えない場合があります。ご契約になられたプロバイダが対応しているか、ご確認ください。Outlook Express をご使用になる前にあらかじめプロバイダへの入会やメールの設定などを完了させてください。設定内容の詳細についてはご契約になられたプロバイダにお問い合わせください。

### 1 起動する

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] → [Outlook Express] をクリックする



Outlook Express が起動します。

- メモ** ● ご購入のモデルや使用状況によっては、[スタート] → [Outlook Express] で起動します。

## 2 オプションの設定

Outlook Express をより便利に使うための設定をご紹介します。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [オプション] をクリックする②



[オプション] 画面が開きます。

### 2 各タブで設定を行う

オプションの設定は必ずしも行う必要はありませんが、設定すると Outlook Express をより便利に使うことができます。本書では、オプション 1～4 の設定を行なった前提で説明しています。



## ■ オプション2 数通のメールをまとめて送りたい場合

[送信] タブの [送信] で [メッセージを直ちに送信する] のチェックをはずす

メールの送信をまとめて行う設定になります。

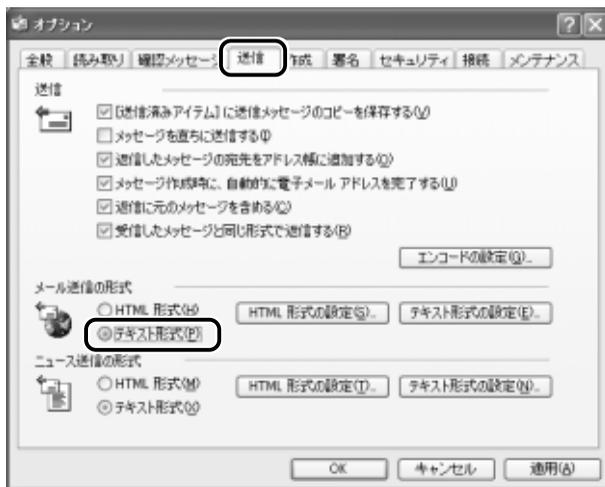
メールを1通書くたびにインターネットに接続するのではなく、手動で送信を実行したほうが数通のメールをまとめて送りたい場合などに、便利です。



## ■ オプション3 メール形式を選択する場合

[送信] タブの [メール送信の形式] で [テキスト形式] をチェック (●) する

HTML 形式で送信した場合、相手のメールソフトが HTML 形式に対応していないと、メールが文字化けして、内容を読むことができない場合があります。通常は、どのメールソフトでも読めるように、テキスト形式でメールを送るほうが良いでしょう。



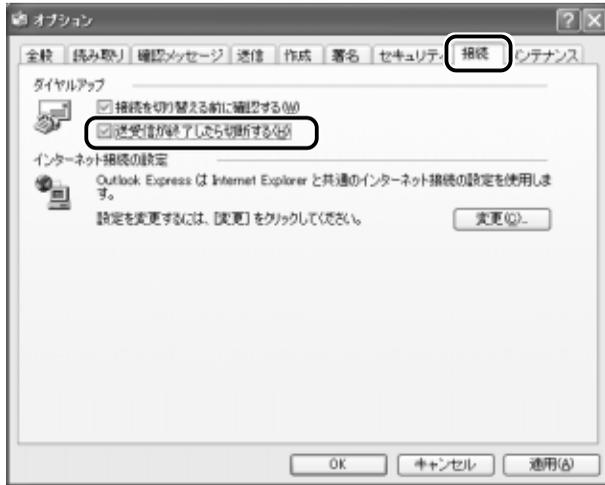
- **テキスト形式** ● メール本文が文字だけで記述されていること。
- **HTML 形式** ● メール本文が htm ファイル形式で記述されていること。画像を貼りこんだり、リンクを貼れる。
- **文字化け** ● 文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。

## ■ オプション4 インターネットへの接続を終了する場合

[接続] タブで [送受信が終了したら切断する] をチェック (  ) する  
送受信が完了したら、自動的にインターネットの接続を切る設定になります。

接続したままだと、メールの送受信を実行していなくても電話料金がかかります。一時的にメールの送受信を行うためであれば、送受信後は自動的に接続を切る設定にしておく便利です。

メール送受信の後、接続したままブラウザを起動してホームページの閲覧などを行う場合は、見終わったときに手で必ず接続を切ってください。



### 3 [OK] ボタンをクリックする

以上で基本的なオプションの設定は完了です。

# 3 Outlook Express画面

メニューバー  
すべての操作はこのメニューから行えます。

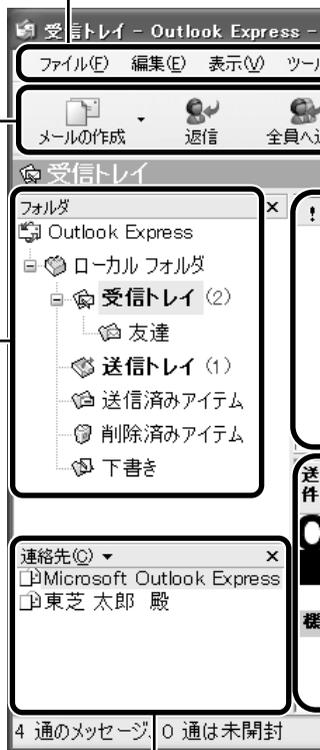
## ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。表示されるボタンは左画面の「フォルダ」で選択されている項目によって異なります。よく使われるボタンの動きを説明します。

-  新しいメールを作成します。  
☞ 「本節 4 メールを作成する」
-  メールを送ってきた相手にメールを返信します。  
☞ 「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  送信元以外にも入力されているメールアドレスに返信します。  
☞ 「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  受け取ったメールを別のメールアドレスに転送します。  
☞ 「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  メールの内容を印刷します。
-  メールを削除します。  
☞ 「本節 7 メールを削除する」
-  インターネットに接続し、メールの送受信を行います。  
☞ 「本節 5 メールを送信する／受信する」
-  アドレス帳を開きます。  
☞ 「本節 9 アドレス帳を使う」
-  メールを検索します。  
☞ 「本節 10 メールを検索する」
-  表示する言語を切り替えることができます。  
☞ 「本節 14 表示する言語を切り替える」

メールの管理を行います。  
( ) 内には未読または未送信のメール数が表示されます。

アドレス帳に登録されている連絡先の一覧が表示されます。



メールの情報が表示されます。  
メールの差出人、用件、受け取った時間など



インターネットへの接続状態を示します。  
接続しているときは、「オンライン中」と表示されます。

選択したメールの内容が表示されます。  
(プレビューウィンドウ)

## 4 メールを作成する

メールを送受信するときはインターネットへの接続が必要です。しかし、メールを作成したり、受け取ったメールを読むときなどは接続の必要はありません。

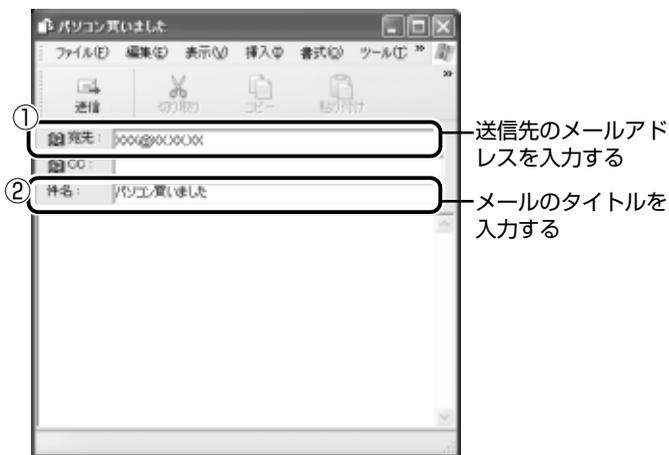
メールの作成が終わった後でインターネットへ接続しましょう。

- メモ** ● インターネットに接続した状態でメールを作成していると、作成中も電話料金やプロバイダの利用料金がかかります。

### 1 ツールバーの [メールの作成] ボタン ( ) をクリックする

[メッセージの作成] 画面が表示されます。

### 2 [宛先] (送信先) ①と、[件名] (タイトル) ②を入力する



- メモ** ● メールアドレスは半角で入力してください。
- メールを複数の相手に送る場合は、「;」(セミコロン) で区切ってメールアドレスを入力します。
  - 宛先以外の人に同じメールを送信しておきたい場合は、[CC] にメールアドレスを入力します。
  - 件名に半角カタカナを使用しないでください。

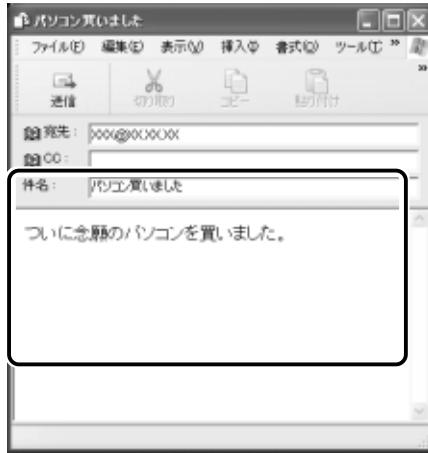
### 3 メール本文を入力する

送信したい文章を入力してください。

件名やメールの本文を書くときは、半角カタカナを使用しないでください。

メールを書く場合のエチケットなどを「本章 4 知っておきたいマナー」で紹介しています。

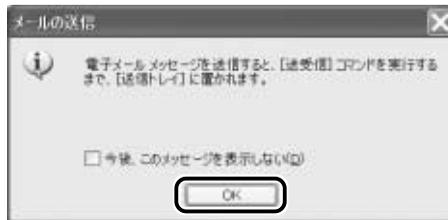
そちらを参考にしながら、本文を入力しましょう。



### 4 ツールバーの[送信]ボタン( )をクリックする

-  ●宛先や件名が入力されていない場合は、注意をうながすメッセージが表示されます。内容を確認してください。
- 件名が入力されていないときに表示される画面で「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「OK」ボタンをクリックすると、次回からこの画面は表示されません。

### 5 [OK] ボタンをクリックする



このとき、まだメールは送信されていません。作成したメッセージは、[送信トレイ] に保存されています。

メールをいくつか作成したい場合は、手順 1 から 5 を繰り返し行なってください。

すべてのメールの作成が終わったら、インターネットへ接続し、メールを送信します。

 参照  メールを送信する  「本節 5 メールを送信する／受信する」

## メールを書くのを一時的にやめる

メールを書くのをいったんやめて、その内容を保存しておくことができます。

- 1 メールを作成している画面の [閉じる] ボタン (  ) をクリックする
- 2 [はい] ボタンをクリックする



- 3 [OK] ボタンをクリックする



作成したメールは [下書き] フォルダに保存されます。

## メールの続きを作成する

### 3章

### 電子メールを使おう

#### 1 [フォルダ] の [下書き] をクリックする



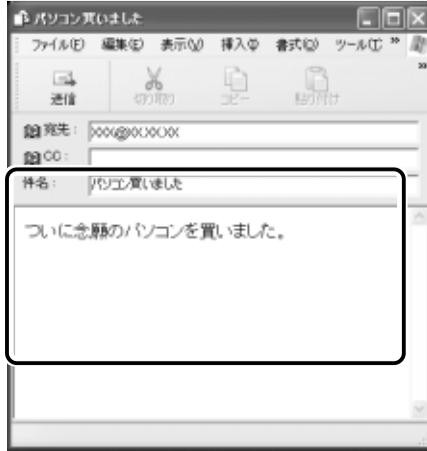
右画面にメールの一覧が表示されます。

#### 2 一覧から目的のメールをダブルクリックする



作成中のメール画面が開きます。

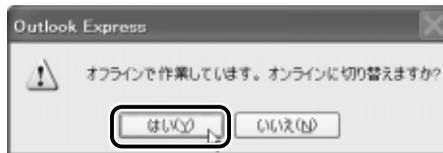
### 3 メールの続きを入力する



## 5 メールを送信する／受信する

送信と受信はインターネットに接続したときに、同時に行えます。  
送信する場合、[送信トレイ] に保存されているメールが送信されます。受信した場合、メールは [受信トレイ] に保存されます。  
送受信の指示を行なった後に、メールの編集や送受信の取り消しはできません。

- 1 ツールバーの [送受信] ボタン (  ) をクリックする
- 2 次のメッセージが表示された場合、[はい] ボタンをクリックする



[ダイヤルアップの接続] 画面が表示されます。

### 3 必要な内容を入力し、[接続] ボタンをクリックする



プロバイダのメールサーバに接続し、送受信が始まります。



[送信トレイ] に保存されていたメールが送信され、送信済みのメールは [送信済みアイテム] に保存されます。その後、届いているメールをチェックし、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。メールの送受信を完了すると、自動的に接続を切断します。

## 受信メールを見る

---

受信したメールは「受信トレイ」に保存されています。

### 1 「フォルダ」の「受信トレイ」をクリックする

「受信トレイ」のカッコ内には、未開封メールの件数が表示されます。



右側に受信したメールの一覧が表示されます。

まだ読んでいないメールは送信者、件名などが太字で表示されます。

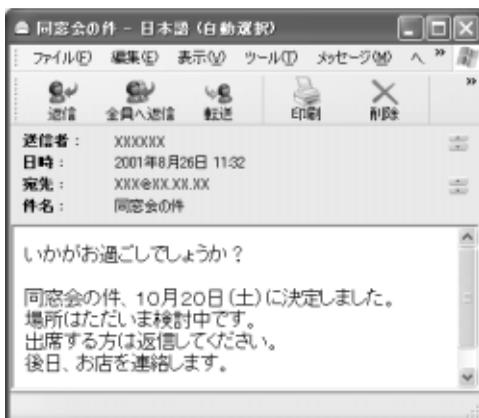
「送信者」の横にあるマークには次のような意味があります。

-  ..... 以前開いたメール（開封済み）
-  ..... 読んでいないメール（未開封）
-  ..... ファイルが添付されている

## 2 見たいメールをダブルクリックする



メールが開きます。



- メールが長い場合は、スクロールして読んでください。
- プレビューウィンドウを表示すると、メールを開かずに内容を読むことができます。
- ファイルが添付されているメールには、[件名] の下に [添付] が追加され、添付ファイルの名称が表示されます。



添付ファイルの開きかたについて

⇒ 「本節 12 メールに添付されたファイルを開く」

## 6 メールを返信する／転送する

受信したメールに返事を出すことを返信といいます。受信したメールを別の相手に送ることを転送といいます。

どちらも、元のメールの本文が自動的にコピーされるので、返事を入力したり、別の相手に伝えるのに便利です。また返信の場合、相手のメールアドレスを入力する手間が省けます。

### 返信する

#### 1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。

- メモ** ●メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

#### 2 一覧から返信したいメールをクリックする

### 3 ツールバーの「返信」ボタン ( ) をクリックする

メールの作成画面が表示されます。

[宛先] にはメールをくれた相手のアドレスが自動的に表示されます①。

[件名] には元のタイトルに「Re:」がついて表示されます②。

「Re:」は「Response: 返答、返事」の略です。

本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています③。



-  [全員へ返信] ボタン (  ) をクリックすると、受信メールの宛先やCCに含まれているアドレスすべてが、それぞれ [宛先] と [CC] に入力されます。

### 4 メール本文を入力する

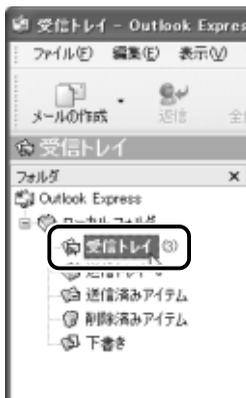
このあとの操作は「本節 4 メールを作成する」の手順 3 以降と同じです。

-  返信したメールは [受信トレイ] のメール一覧で [送信者] の横にあるマークが  (返信済み) に変わります。

## 転送する

---

### 1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。



- メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

### 2 一覧から転送したいメールをクリックする

- 3 ツールバーの【転送】ボタン (  ) をクリックする  
メールの作成画面が表示されます。  
[件名] には元のタイトルに「Fw:」がついて表示されます①。  
「Fw:」は「Forward: 転送する」の略です。  
本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています②。



#### 4 [宛先] を入力する

#### 5 メール本文を入力する

このあとの操作は「本節 4 メールを作成する」の手順3以降と同じです。

-  ● 転送したメールは [受信トレイ] のメール一覧で [送信者] の横にあるマークが  (転送済み) に変わります。

## 7 メールを削除する

受信したメールやすでに送信したメールは削除しないと増えていきます。不要なメールはまめに削除するようにしましょう。

- 1 【フォルダ】で削除したいメールが保存されている場所をクリックする

一覧が表示されます。

- 2 一覧から削除したいメールをクリックする

- 3 ツールバーの【削除】ボタン (  ) をクリックする

選択したメールが一覧からなくなります。このとき、まだメールは削除されていません。【削除済みアイテム】に移動しています。

-  ● 送信したメールも受信したメールも最初に削除したときは【削除済みアイテム】に移動します。

- 4 【フォルダ】の【削除済みアイテム】をクリックする

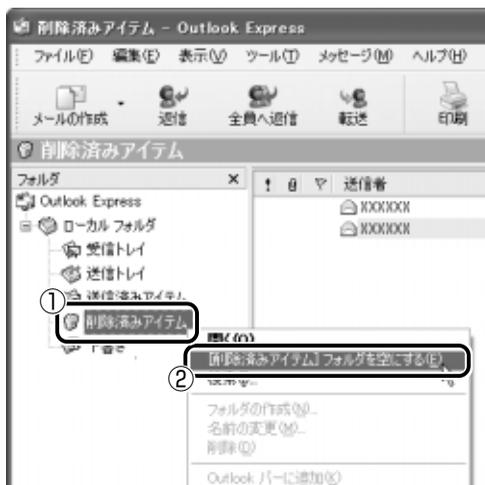
削除したメールの一覧が表示されます。



間違えて削除してしまったメールは、ドラッグアンドドロップすると元の場所へ戻すことができます。

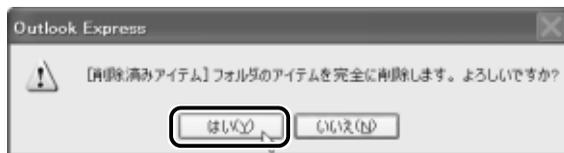


- 5 「削除済みアイテム」を右クリックし①、表示されたメニューから「[削除済みアイテム] フォルダを空にする」をクリックする②



確認のメッセージが表示されます。  
ここで削除したメールはもう見るできません。削除する前によく確認してください。

## 6 [はい] ボタンをクリックする



【削除済みアイテム】にあるメールがすべて削除されます。

## 8 メールを整理する

受信したメールは「受信トレイ」に保存されます。Outlook Expressでは、「受信トレイ」の他にフォルダを作り、メールの相手や内容によって分類することができます。また、不要なメールは削除するなど、「受信トレイ」を常に整理しておく、あとでメールを探すときに便利です。

-  ● 標準設定では、受信したメールは「受信トレイ」に保存されます。設定を変更している場合は、設定先のフォルダに保存されます。

### メールを分類する

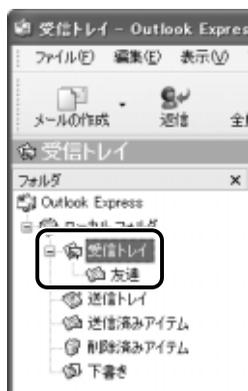
- 1 【フォルダ】の【受信トレイ】を右クリックし①、表示されたメニューから【フォルダの作成】をクリックする②



- 2 フォルダ名を入力し①、[OK] ボタンをクリックする②  
ここでは [友達] フォルダを作成します。



[受信トレイ] に、新しくフォルダが作成されました。



### 3 移動したいメールを、作成したフォルダにドラッグアンドドロップする



選択したメールが新しいフォルダに移動します。  
複数のメールを指定するときは、(Ctrl)キーを押しながらクリックします。連続して表示されているメールを指定するときは、(Shift)キーを押しながらクリックします。

### 4 作成したフォルダをクリックする

フォルダ内のメールの一覧が表示されますので、移動したメールがあるか確認してください。



## 9 アドレス帳を使う

よくメールをやり取りする相手のメールアドレスは、「アドレス帳（住所録）」に登録しておく便利です。

「アドレス帳」は、メールアドレス以外の情報も管理できるようになっていますが、ここではメールで利用する機能について紹介します。その他の詳細については、『Outlook Express のヘルプ』をご覧ください。

### メールをくれた相手のアドレスを登録する

- 1 一覧から登録したいアドレスのメールを右クリックし①、表示されたメニューから [送信者をアドレス帳に追加する] をクリックする②



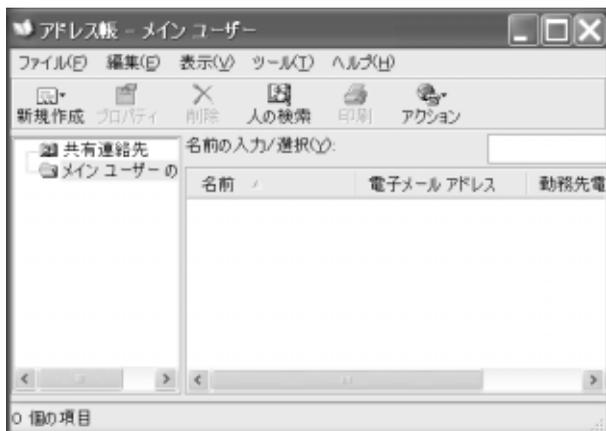
[アドレス帳] に登録され、メイン画面の [連絡先] 欄に表示名が表示されます。表示名などは、相手が登録した内容になりますので、必要に応じて内容の修正や追加を行なってください。

 詳細について ⇨ 「本項 アドレス帳を修正する」

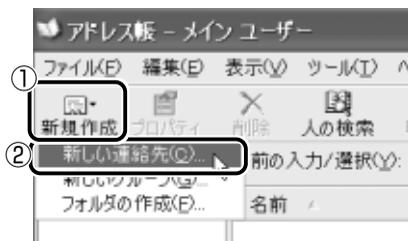
-  ● [返信] でメールを送った相手の表示名などが、自動的に登録される場合があります。そのときは、[この連絡先は、既にアドレス帳に存在します。] のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。

## 新しいアドレスを登録する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン (  ) をクリックする  
[アドレス帳] 画面が表示されます。



- 2 ツールバーの [新規作成] ボタン (  ) をクリックし  
①、表示されたメニューから [新しい連絡先] をクリック  
する②



[のプロパティ] 画面が表示されます。

- 3 [名前] タブで [姓] [名] [表示名] [電子メールアドレス] を入力し①、[追加] ボタンをクリックする②  
電子メールアドレスは、半角英数字で入力してください。

入力したメールアドレスは「既定の電子メール」として追加されます。



- [表示名] に入力した文字は、メールを受け取る相手にもそのまま表示されます。「様」「殿」といった敬称は、この [表示名] に追加することをおすすめします。
- [自宅] タブや [勤務先] タブ、[個人情報] タブなどでは、住所や電話番号、勤務先、家族構成などの情報も登録することができます。

#### 4 プロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする



アドレス帳に追加されました。



## アドレス帳を修正する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン (  ) をクリックする
- 2 修正したい名前をダブルクリックする



[XXXX (表示名) のプロパティ] 画面が表示されます。

- 3 [名前] タブで編集したい内容を変更する



電子メールアドレスを編集する場合は、[編集] ボタンをクリックします。  
「電子メールアドレス」が反転表示されたらアドレスを修正してください。



- 4 修正が終わったら、[OK] ボタンをクリックする  
[アドレス帳] 画面に戻ります。

## アドレス帳を使って宛先を入力する

- 1 ツールバーの [メールの作成] ボタン (  ) をクリックする  
[メッセージの作成] 画面が表示されます。
- 2 [宛先] ボタン (  宛先 ) をクリックする
- 3 送信したい相手をクリックし①、[宛先] ボタンをクリックする②



[メッセージの受信者] に選択した名前が入ります。



同じメールを複数の相手に送る場合は、この操作を繰り返し行い、[宛先] に追加してください。



- 「写し」として送る場合は、[宛先] ボタンの代わりに、[Cc] または [Bcc] ボタンをクリックします。「Cc」は Carbon Copy の略で、文書の宛先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。「Bcc」は Blind Carbon Copy の略で、「Cc」と同様の役割です。「宛先」、「Cc」で指定した場合は、メールが誰に送信されたのか、送信相手全員にわかりますが、「Bcc」で指定した場合は、他の送信相手にはわかりません。送信したことを他の人に知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいるときに利用します。

#### 4 [OK] ボタンをクリックする

[メッセージの作成] 画面に戻ります。

メールの宛先に、登録された表示名が入力されています。



#### 5 メール の 件名、本文を入力し、メールを作成する

# 10 メールを検索する

受信したメールや送信したメールなどを検索できます。

- 1 ツールバーの [検索] ボタン (  ) をクリックする  
ツールバーに [検索] ボタンが表示されていない場合は、ツールバー右端の  をクリックし、表示されたメニューから [検索] をクリックしてください。



[メッセージの検索] 画面が表示されます。

- 2 [メッセージの検索] 画面で検索条件を入力し①、[検索開始] ボタンをクリックする②



検索結果が表示されます。



-  ● 検索結果をダブルクリックすると、メッセージが開きます。

- 3** 検索が終わったら、[閉じる] ボタン (  ) をクリックする [メッセージの検索] 画面が閉じます。

# 11 メールにファイルを添付する

画像や文書などのデータを送るときは、メールにファイルとして添付します。

- 1 メールを作成する
- 2 メニューバーの [挿入] をクリックし①、表示されたメニューから [添付ファイル] をクリックする②

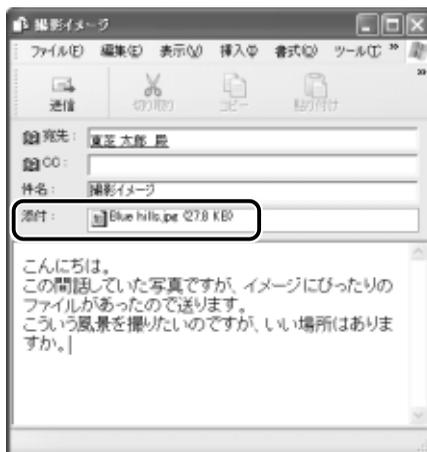


- 3 添付したいファイルを選択し①、[添付] ボタンをクリックする②

ここでは [共有ピクチャ] の [Sample Pictures] に保存されている「Blue hills」というファイルを選択します。



[メッセージの作成] 画面に戻ります。  
[件名] の下に、添付したファイルの名称が表示された [添付] が追加されます。



添付したいファイルがいくつかある場合は、手順 2 と 3 を繰り返して行ってください。

- メモ** ● 受信側のパソコンに、添付したファイルを開くためのアプリケーションがセットアップされている必要があります。

## 4 メールを送信する

# 12 メールに添付されたファイルを開く

## ■ ファイルを開くときの注意

コンピュータウイルスが添付ファイルで送られてくることがあります。知らない差出人や、内容についての安全性が確認できない添付ファイルは、コンピュータウイルスに感染している場合があります。ウイルスのチェックを行ってからファイルを開くことをおすすめします。

## ■ ファイルを開く

添付ファイルを開くには、添付ファイルに対応したアプリケーションがインストールされている必要があります。

### 1 メールを開く

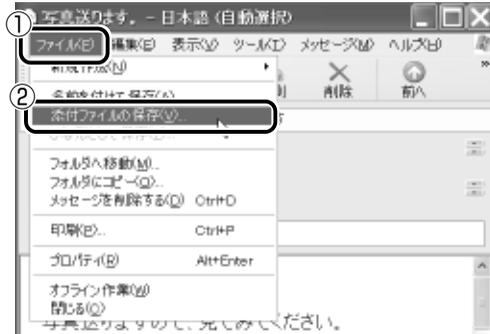
受信メールを開いたとき、[件名] の下に [添付] が表示されている場合は、ファイルが添付されています。また、メール一覧では [送信者] の横に [添付ファイル] アイコン (📎) が表示されています。



ファイル名をダブルクリックして添付ファイルを開くこともできますが、この場合ファイルの種類によっては、開くときに警告のメッセージが表示されます。添付ファイルにはウイルスが含まれている場合があるためです。

ここでは、いったんファイルを保存してから開く方法を説明します。

- 2 メニューバーの【ファイル】をクリックし①、表示されたメニューから【添付ファイルの保存】をクリックする②



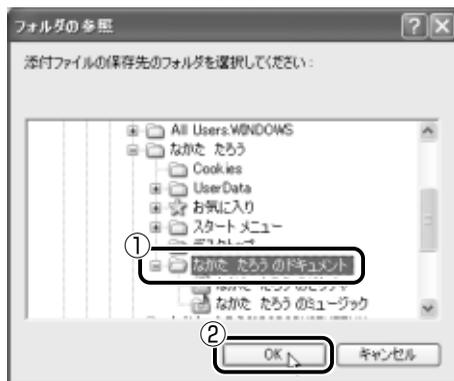
- 3 保存する添付ファイル①と、【保存先】②を選択する



表示された保存先と別のフォルダに保存する場合は、【参照】ボタンをクリックしてください。

保存先のフォルダを選択し①、[OK] ボタンをクリックしてください②。

ここでは [ながた たろうのドキュメント] フォルダに保存します。



#### 4 [保存] ボタンをクリックする

ファイルが保存されました。

安全性が確認できないファイルは、開く前にウイルスチェックをしてください。

#### 5 保存先フォルダを開き、フォルダをダブルクリックする

# 13 署名を入れる

メッセージの最後に、自分の名前やメールアドレスなど、差出人情報を入れることもエチケットのひとつです。次の手順で、あらかじめ作成しておく便利です。

- 1 メニューバーの「ツール」をクリックし①、表示されたメニューから「オプション」をクリックする②



- 2 「署名」タブで「作成」ボタンをクリックする



### 3 [署名の編集] に差出人情報として入れたい内容を入力する



### 4 [すべての送信メッセージに署名を追加する] をチェック (☑) する

返信や転送するメールにも署名を追加する場合は、[返信と転送メッセージには署名を追加しない] のチェックをはずしてください。



5 [OK] ボタンをクリックする

6 ツールバーの [メールの作成] ボタン (  ) をクリックする

メール作成画面に署名が挿入されています。



## 14 表示する言語を切り替える

表示する言語を切り替えることができます。

選択した言語を表示するには、対応するシステムが必要な場合があります。

1 ツールバーの [エンコード] ボタン (  ) をクリックし、表示したい言語をクリックする

ツールバーに [エンコード] ボタンが表示されていない場合は、ツールバー右端の  をクリックし、表示されたメニューから [エンコード] をクリックしてください。

言語の一覧が表示されます。

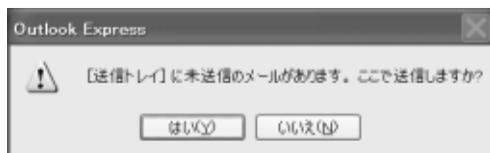


# 15 終了する

- 1 Outlook Express 画面の [閉じる] ボタン (  ) をクリックする



送信トレイに送信していないメールがある場合、送信を確認するメッセージが表示されます。



送信してから終了する場合は、[はい] ボタン、送信しないで終了する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。  
画面を閉じたら、インターネット接続が終了しているか確認してください。

# 3

## ペットにメールを運んでもらう

ポストペット

本製品にはメールソフト「PostPet」がプレインストールされています。プロバイダによっては、PostPet を使えない場合があります。ご契約になられたプロバイダが対応しているかどうか、ご確認ください。ポストペットは、かわいいペットが電子メールを運ぶメールソフトです。あなたやあなたのお友だちあてにメールを書いたり、宝物を拾ってきたりします。おやつやおもちゃをあげたり、ときどき洗ってあげたりして、ペットとの暮らしを楽しんでください。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [PostPet for Windows] → [PostPet for Windows] をクリックする  
初めて使うときは設定画面が表示されます。
- 2 必要な内容を入力し①、[次に進む] ボタンをクリックする②  
入力する内容については、各プロバイダにご確認ください。  
また『PostPet のヘルプ』もご覧ください。

PostPet for Windows ver. 2.0 Setup1

PostPet™ セットアップ

はじめに、ネットワークの設定をします。以下の各項目を入力したあと、  
[次に進む]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、  
この作業を中断出来ます。

① 基本設定(最低限必要な設定)  
例)は、So-netの場合の設定例です

SMTPサーバー:   
例)mail.△△△.so-net.ne.jp

POPアカウント:   
例)○○○@pop.△△△.so-net.ne.jp

電子メールアドレス:   
例)○○○@△△△.so-net.ne.jp

名前:

パスワード:

パスワードの保存

サーバーにあるメールを  残す  削除

キャンセル  ② ③ 次に進む

参照 ヘルプの起動方法 ⇨ 「本節-ヘルプの起動方法」

### 3 ペットを選ぶ

ここでは「テディベア」を例に説明します。

- ①ペットを選び、絵の上でクリックする  
ポインタを絵の上にあわせると、  
【特徴】に説明が表示されます。

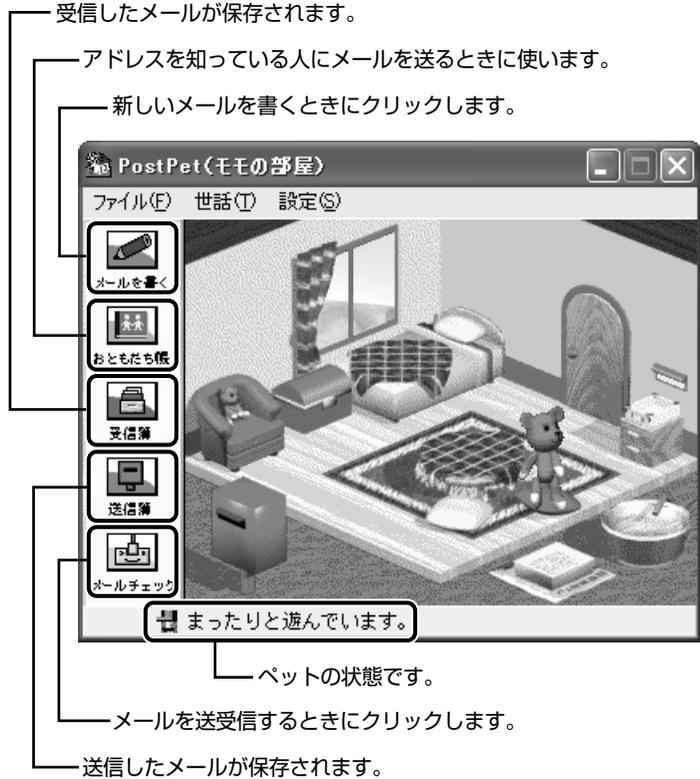


- ②ペットや飼い主について入力する

- ③入力がすべて終わったら  
クリックする

ペットを変更したい  
ときにクリックする

[ペットの部屋] 画面が表示されます。



詳しい使いかたは『PostPetのヘルプ』をご覧ください。

## ヘルプの起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [PostPet for Windows] → [PostPet for Windowsの使い方] をクリックする

# 4

## 知っておきたいマナー

### 半角カタカナは使わない

インターネットにはいろいろな機種のコピュータが接続されています。機種によっては文字を表示するためのコードが違うため正しく表示されなかったり、「文字化け」してしまうことがあります。せっかくメールを送っても読めないのでは、意味がありません。メールで使ってはいけない文字の代表が「半角カタカナ」です。「半角カタカナ」は文字化けの原因になるばかりではなく、他のコンピュータを誤作動させるおそれもあるので使わないようにしましょう。また、丸数字やローマ数字、特殊記号なども使わないほうがいいでしょう。

#### <使用できる文字・使用しないほうがよい文字>

使用できる文字	半角英数字、記号 全角の漢字、ひらがな、カタカナ キーボードに表示されている記号（全角）
使用しないほうがよい文字	半角カタカナ 丸数字（①、②、③など） ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなど） 罫線記号（ㄣ、ㄤ、ㄨなど） 音符記号（♪、♭など） 論理記号（∩、∪、≧など） 特殊文字（㊤、(株)、cmなど） 旧字体、外字など

### 読みやすさに気配りを

メールでやり取りする文章は、段落ごとに1行空けたり、箇条書きで必要事項をまとめるなど読みやすさに配慮しましょう。

### 1行の長さに気を付けて

1行の長さはだいたい全角30字～35字程度を目安に書くように心がけましょう。メールソフトによっては、自動的に改行が入るものがありますが、文章の途中で改行されたために、読みにくくなってしまいます。文章を作成するときに、適度に改行を入れておくといいでしょう。

## 件名は一目で内容が分かるように

---

メールの件名（題名）は、一目で内容がわかるような簡潔なものにしましょう。

## 署名を入れる

---

誰からのメールかわかるようにメッセージの終わりに署名（名前やメールアドレスなど差出人情報）を入れることをおすすめします。ただし、署名に自宅の住所や電話番号、職場の連絡先などの個人情報を必要以上に開示していないか十分に注意することを忘れないようにしましょう。署名は複数用意できますから、相手によって使い分けることができます。

 署名の作成 ⇨ 「本章 2-13 署名を入れる」

## 添付ファイルの容量に注意

---

ファイルを添付するとき、ファイルの容量に十分注意しましょう。容量の大きい画像ファイルなどを添付すると、メール自体の容量が大きくなります。相手がダイヤルアップで接続している場合、メールを受信するのに時間がかかるので、電話代がどんどんかかってしまいます。画像ファイルは圧縮して容量を小さくして添付するようにしましょう。

## チェーン・メールに要注意

---

「不幸の手紙」のように、不特定多数の人に同じ内容の伝言（転送）を求めるメールを「チェーン・メール」といいます。チェーン・メールはメールサーバやネットワーク回線の負担になりますので、転送しないようにしましょう。

## TO、CC、BCCの意味と使い分け

メールにはあて先 ([TO]) のほかに、[CC] と [BCC] があります。[CC] は Carbon Copy の略で、[TO] のコピーという意味です。直接用件を伝えたいあて先以外の人に「参考までに」という意味合いで同じメールを送るとき使います。[BCC] は Blind Carbon Copy の略で、[CC] と同様 [TO] のコピーです。[CC] と [BCC] の大きな違いは、[CC] で指定した場合は、メールが誰に送信されたのか、送信相手全員にわかってしまいますが、「BCC」で指定した場合は、他の送信相手にはわからないということです。他に誰に送ったかを知られずに送りたいときは [BCC] を使います。

## 楽しい顔文字の一例

文字化けしない記号を組み合わせで作った、顔の表情のマークを顔文字といいます。文字だけのやりとりは意外と誤解を招いたりすることも多いものです。気持ちを表す顔文字が文章の中に入っていると受け取る方もちょっと違った感じになるはずです。ほんの一例を紹介します。

にこにこ	!(^^)! ^_^ (^)o(^) (#^.#) (*^.*) (*^.*) (^.) (^.) (^_^)/ \(^o^)/
むか	(-_-) (一一` ) (^_^X)
ごめん	_(._)_ _(^)_ <(_)> m(_)_m
あせ	(^^ゞ (^.^) (-_-) ( _;)
びっくり	(*_* ) (*_*; (@_@) \(\◎o◎)/!
なぞ	(. . ? (?_?)

MS-IME2002 では、いろいろな顔文字を読みから入力することができます。

変換モードが [一般] のときに、顔文字を変換して入力するには、次の設定を行う必要があります。

- ① IME ツールバーのツールアイコン (  ) をクリックし、[プロパティ] をクリックする  
[Microsoft IME スタンダードのプロパティ] 画面が表示されます。
- ② [辞書/学習] タブをクリックする
- ③ [システム辞書] の [Microsoft IME 話し言葉・顔文字辞書] チェックボックスをクリックし、(  ) の状態にする
- ④ [Microsoft IME スタンダードのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする